SONY

3-277-590-**05** (1)

マイクロハイファイ コンポーネントシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MDLP

CMT-M35WM

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4~8ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

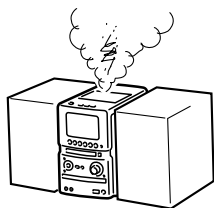
定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店、またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ **電源を切る。**

❷ **電源プラグをコンセントから抜く。**

❸ **お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

準備

聞く

録音する

MDを編集する

その他の設定をする

使用上のご注意・主な仕様

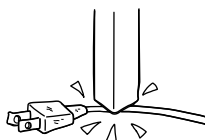
⚠警告

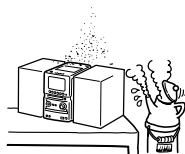
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

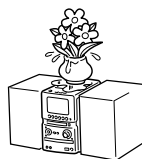
電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物が入らないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

本機やアンテナ線、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

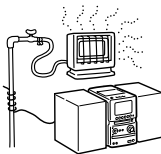
本機を日本国外で使わない

交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

ガス管にアース線やアンテナ線をつながない

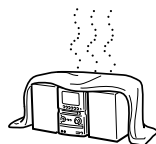
火災や爆発の原因となります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

カセットやディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

大音量で長時間つづけて聞かない

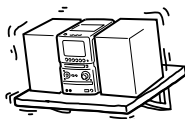
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。
呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

安定した場所に置く

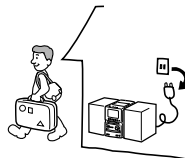
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。
本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険　乾電池の液が漏れたときは

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- システムステレオやミニディスクなどを使用中、万一これらの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
  （お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会Tel. 03-5353-0336）

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。
窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

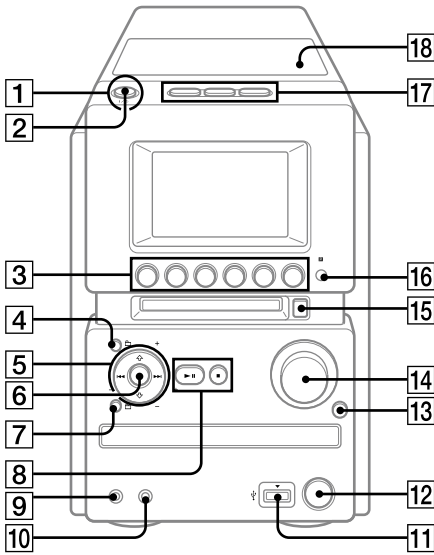
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

この取扱説明書の使いかた

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じ名前の本体のボタンは、同じ働きをします。

各部の名前と働き

本体

リモコン

1 I/⏻ 電源ボタン(15、17、19、21、26、29 ～ 30、33、57ページ)

本機の電源を入/切します。

2 電源ランプ(55ページ)

本機の電源が入っているときに消灯、電源が切れているときに点灯します。

3 ウォークマンボタン(21、27、29ページ)

本機につないだ“ウォークマン”の音楽を聞くときに、音源を「ウォークマン」に切り換えます。

MDボタン(18、26、29 ～ 30、33、50ページ)

MDを聞くときに、音源を「MD」に切り換えます。

テープボタン(18、27、30ページ)

テープを聞くときに、音源を「テープ」に切り換えます。

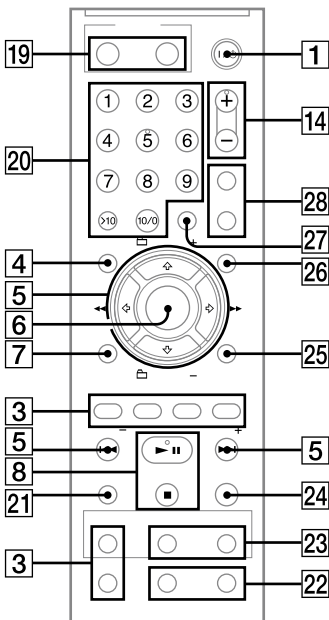
CDボタン(18、27、29 ～ 30ページ)

CDを聞くときに、音源を「CD」に切り換えます。

チューナー/バンドボタン(19、26、29 ～ 30ページ)

ラジオを聞くときに、音源を「チューナー」に切り換えます。FM、AMの切り換えもします。

外部入力ボタン(24、27、29 ～ 30ページ)

本機につないだ別売りの機器の音を聞くときに、音源を「ガイブニュウリョク」に切り換えます。

4 設定ボタン(15、19、25、27、31、35、47ページ)

設定項目を表示します。
文字を入力するときに、入力する文字の種類を選択します。

5 ↑/↓/←/→ボタン(15、19、26、31、33、35、38 ～ 43、45、48ページ)

項目を選択したり、設定値を変更したりします。

🗀+/–ボタン(22 ～ 23、26、50ページ)

MDのグループや、本機につないだ“ウォークマン”のアルバムを選択します。

プリセット+/–ボタン(20ページ)

プリセット登録したラジオ局を選択します。

次のページにつづく

⏮/⏭ボタン（18、22 ～ 23、31ページ）

曲の頭出しをします。
本体の⏮/⏭ボタンは◀◀/▶▶ボタンの機能を兼ねています。

◀◀/▶▶ボタン（18、22ページ）

曲の早戻しや早送りをします。

選局＋/–ボタン（19ページ）

ラジオ局の周波数を合わせます。

6 決定ボタン（15、19、23、26、31、33、35、38 ～ 41、43、45、47 ～ 48ページ）

操作を決定します。

7 戻るボタン（50ページ）

1つ前の設定項目に戻ります。

8 ▶II 再生／一時停止ボタン*（18、21 ～ 22ページ）

曲の再生を始めたり、一時停止したりします。

■ 停止ボタン（15、18、20、22、27、29、31、57ページ）

曲の再生を停止します。

9 🎧（ヘッドホン）端子

別売りのヘッドホンをつなぎます。

10 外部入力端子（24ページ）

別売りの機器をつなぎます。

11 ウォークマン接続端子（21、30ページ）

別売りの"ウォークマン"をつなぎます。

12 CD→ウォークマン録音ボタン（31ページ）

本機のどの音源を選んでいても、ワンタッチでCDの全曲を"ウォークマン"に録音します。

13 ⏏（ディスクトレイ開閉）ボタン（17ページ）

ディスクトレイを開閉します。

14 本体：音量つまみ（18 ～ 19、21、24ページ）
リモコン：音量＋/–ボタン*（18 ～ 19、21、24ページ）

音量を調節します。

15 ⏏（MD取り出し）ボタン（18ページ）

MDを取り出します。

16 リモコン受光部 R（14ページ）

リモコンは、リモコン受光部に向けて操作します。

17 ワンタッチ録音ボタン
ウォークマンへワンタッチ録音ボタン（30、57ページ）

本機につないだ"ウォークマン"へ録音します。

MDへワンタッチ録音ボタン（27ページ）

MDへ録音します。

テープへワンタッチ録音ボタン（29ページ）

テープへ録音します。

18 ⏏ PUSH（プッシュ） EJECT（イジェクト）（17ページ）

テープを入れたり、取り出したりするときに、ふたを開閉します。

19 タイマーボタン
スリープタイマーボタン（47ページ）

指定した時間がたつと、自動的に本機の電源が切れるように設定します。

再生／録音タイマーボタン（48 ～ 49ページ）

指定した時刻や曜日に、自動的に音楽を再生したり、ラジオから録音したりするように設定します。

20 数字／文字入力ボタン*（18、20、36 ～ 37ページ）

CDやMD、本機につないだ"ウォークマン"の曲番を選択したり、プリセット登録したラジオ局を選択したりします。
文字を入力します。

21 リピートボタン（18、22ページ）

CDやMD、本機につないだ"ウォークマン"の曲をくり返し聞くときに使います。

22 表示切換ボタン(16、18、22、24、47、68ページ)
表示窓に表示される内容を切り換えます。

明るさボタン(47ページ)
表示窓の明るさを変えます。

23 放送局登録ボタン(20ページ)
ラジオ局をプリセット登録します。

FMステレオ/モノラルボタン(19ページ)
FM放送のステレオ受信、モノラル受信を切り換えます。

24 再生モードボタン(23、33ページ)
CDやMD、本機につないだ"ウォークマン"の再生のしかたを選択します。

25 MDグループボタン(22、26、33、35、50ページ)
MDのグループ機能を選択します。

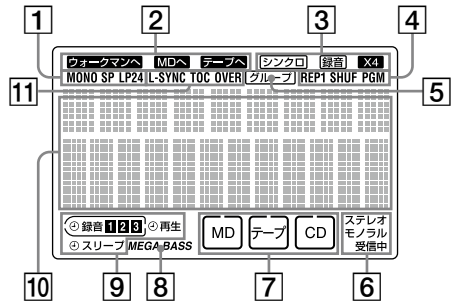
26 メニューボタン(20、26、31、33、45ページ)
MDや本機につないだ"ウォークマン"の編集をします。

27 取消しボタン(24、36ページ)
文字を消したり、プログラムした曲を消したりします。

28 M. BASS(メガベース)ボタン(25ページ)
重低音を強調します。

プリセットEQボタン(25ページ)
あらかじめ登録されている音質に切り換えます。

* 数字/文字入力ボタン20の5、音量+ボタン14、►II 再生/一時停止ボタン8には、凸点(突起)が付いています。操作の目印として、お使いください。

画面表示の名前

1 録音モード表示(26ページ)
MDへ録音するときの録音モード(SP/LP2/LP4/MONO)を表します。

2 録音先表示(27、29 ~ 31ページ)

3 シンクロ録音表示(27、29 ~ 31ページ)
録音中表示(27、29 ~ 31ページ)
録音速度表示(27、31ページ)

4 再生モード表示(23ページ)
CDやMD、本機につないだ"ウォークマン"の再生モード(リピート再生/シャッフル再生/プログラム再生)を表します。

5 MDのグループ表示(22、33ページ)

6 ラジオの受信音声表示(19ページ)
ラジオ受信表示(19ページ)

7 MD/テープ/CD表示(17ページ)
MD、テープ、CDが入っているときに、それぞれの表示に囲みが表示されます。

8 MEGA BASS(メガベース)表示(25ページ)

9 タイマー表示(47 ~ 49ページ)

10 操作状況表示
名前やメニュー項目、メッセージなど、様々な情報が表示されます。

11 L-SYNC(レベルシンクロ)表示(45ページ)
MDにレベルシンクロ録音するよう設定されているときに表示されます。

TOC(トック)表示(33ページ)
録音、編集した情報をMDへ書き込んでいるときに表示されます。

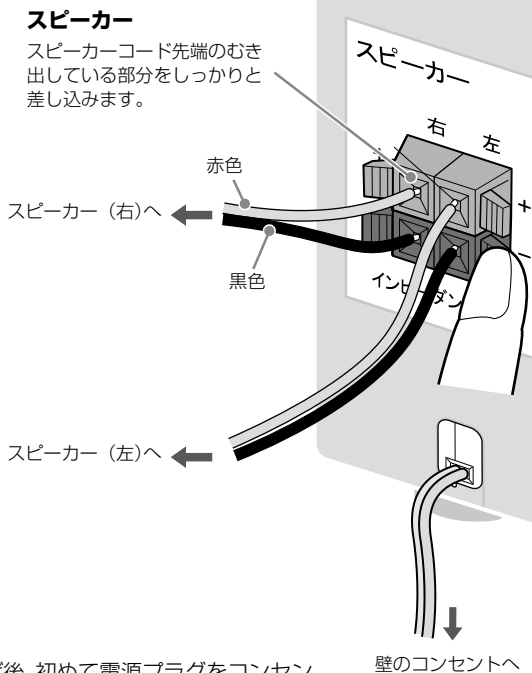
OVER(オーバー)表示(43ページ)
MDへ録音した曲の音声レベルを調整するときに表示されます。

接続する

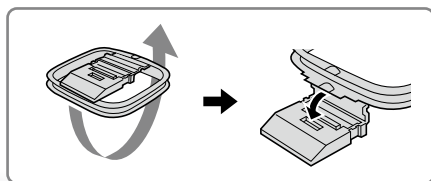
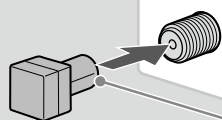
本機を移動する前に必ず確認してください。

- CDやMD、テープを取り出してください。故障の原因となります。
- 電源が切れ、すべての動作が終了していることを確認してください。

スピーカー

スピーカーコード先端のむき出している部分をしっかりと差し込みます。

電源

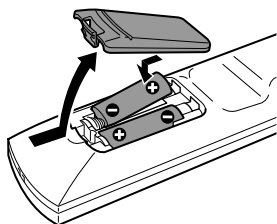
お買い上げ後、初めて電源プラグをコンセントへ差し込むと、デモ表示が自動的に始まります。デモ表示を消すには、「デモ表示について」（15ページ）をご覧ください。

準備

アンテナ

雑音が入らないようにできるだけスピーカーコードから離してください。
AMループアンテナは、窓際や屋外など、受信状態のよい場所や方向を探して設置してください。
FMアンテナは、伸ばした状態で両手で水平に持ち、体の向きを変えながら受信状態のよい方向を探してください。壁や天井に貼ってください。

次のページにつづく

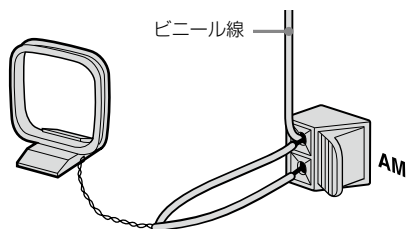
リモコンに電池を入れる

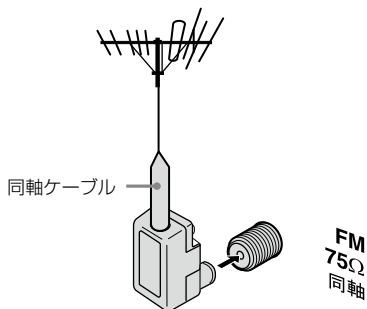
付属の単3形乾電池をイラストのように⊖極側から入れます。

ご注意

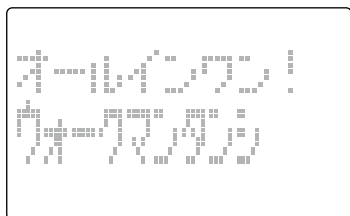
- 電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
  - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  - 新しい電池と使った電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
  - 電池は充電しないでください。
  - 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出してください。
  - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部 R ⑯に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できないことがあります。
- 電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい電池に交換してください。

付属のアンテナで受信できないときは

AM

市販の6 ～ 15mのビニール線を、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。付属のAMループアンテナはつないだままにしておきます。

FM

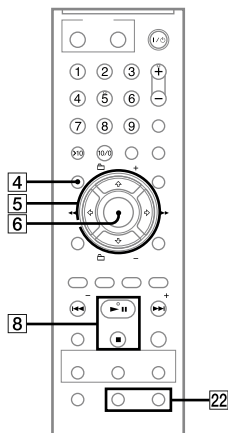
市販の75Ω同軸ケーブル（3C-2V）を使って、本機と屋外アンテナをつなぎます。

デモ表示について

本機は、電源が切れている状態でも表示窓にバックライトがつき、デモ表示されるように設定されています。

デモ表示を消すには

I/⏻ 電源ボタン[1]を押して、電源を入れます。
電源を入れない場合は、本体の■ 停止ボタン[8]を押します。

デモ表示を出さない設定にするには

右段の「時計を合わせる」の手順にしたがって、時計を合わせます。
時計を合わせると、本機の電源が切れている状態でもデモ表示されません。
時計を合わせていても、本体の■ 停止ボタン[8]を押すとデモ表示が始まります。

時計を合わせる

1 設定ボタン[4]を押す。

2 ↑/↓ボタン[5]をくり返し押して「トケイ」を選び、決定ボタン[6]を押す。

時計設定画面が表示され、「年」が点滅します。

3 ↑/↓ボタン[5]をくり返し押して西暦の下2桁を合わせ、決定ボタン[6]を押す。

4 手順3をくり返して、「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。

5 「分」を合わせた後、決定ボタン[6]を押す。

時計が動き始めます。停電になったり、電源コードを抜いたりすると、設定は解除されます。

設定を途中でやめるには

■ 停止ボタン[8]を押します。

設定を途中で間違えたときは

←/→ボタン[5]をくり返し押して変更したいところを選び、合わせ直します。

準備

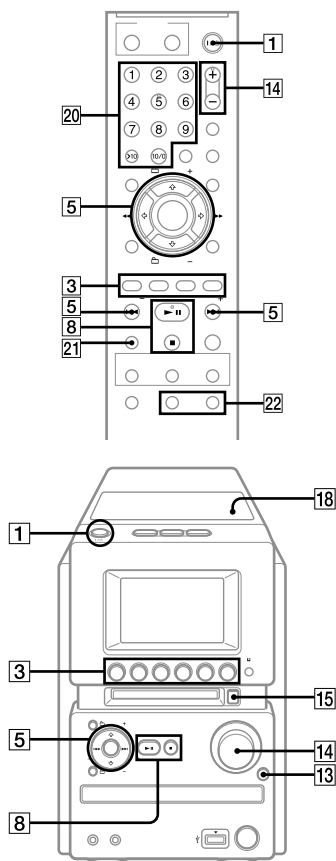
次のページにつづく

時計を確認するには

電源が入っているときは、表示切換ボタン㉒を押します。
電源が切れているときは、時計が表示されています。ただし、節電モードに設定されているときは表示されません（47ページ）。

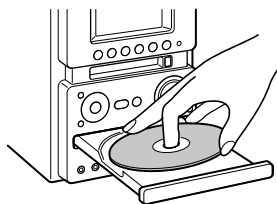
ちょっと一言

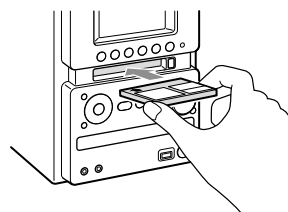
本機の時計は12時間表示です。
真夜中：0:00AM
正午：0:00PM

CD/MD/テープを聞く

1 **I/⏻ 電源ボタン1を押して、電源を入れる。**

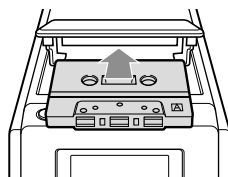
2 CDやMD、テープを入れる。

CD

本体の⏏ボタン13を押して、ディスクトレイを開きます。文字の書いてある面を上にして入れます（8cmシングルCDは、中央のくぼみに合わせて入れます）。
もう一度本体の⏏ボタン13を押して、ディスクトレイを閉めます。故障の原因となるため、ディスクトレイを指で強く押して閉めないでください。

MD

文字の書いてある面を上にして、矢印の向きに差し込みます。

テープ

本体の⏏PUSH EJECT18を押して、ふたを開きます。聞きたい面を上にして入れます。
もう一度本体の⏏PUSH EJECT18を押して、ふたを閉めます。
TYPE I（ノーマル）のテープをお使いください。

次のページにつづく

3 **CDボタン③、MDボタン③またはテープボタン③を押して、音源を選ぶ。**

4 **►II 再生／一時停止ボタン⑧を押す。**

再生が始まります。
テープの反対面を聞くときは、テープを裏返します。

5 **音量＋/–ボタン⑭を押して、音量を調節する。**

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■ 停止ボタン⑧を押す。
一時停止する	►II 再生／一時停止ボタン⑧を押す。 もう一度押すと再生を再開します。
CDやMDの曲を選ぶ	I◄◄/►►Iボタン⑤をくり返し押す。
CDやMDの曲中の聞きたい部分を探す	再生中に◄◄/►►ボタン⑤を押し続け、聞きたいところで指を離す。
テープを巻き戻す/早送りする	◄◄/►►ボタン⑤を押す。
CDやMDの情報を見る*	表示切換ボタン㉒をくり返し押す。
CDを取り出す	本体の⏏ボタン⑬を押す。
MDを取り出す	本体の⏏ボタン⑮を押す。
テープを取り出す	本体の⏏PUSH EJECT⑱を押す。

* CDやMDの総曲数や総演奏時間、1曲またはCDやMD全体の残り時間、MDのディスク名や曲名、グループ名などが表示されます。

CDやMDの曲をくり返し聞くには

リピートボタン㉑をくり返し押して、「REP」（全曲リピート再生）か「REP1」（1曲リピート再生）を点灯させます。
「REP」は再生中のCDやMDの全曲を5回くり返します。「REP1」は再生中の1曲だけをくり返します。

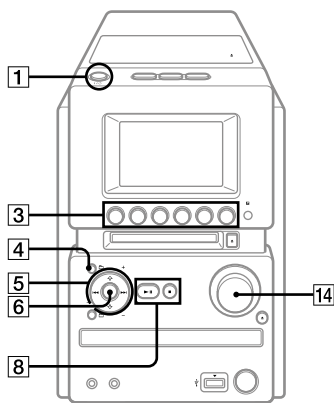
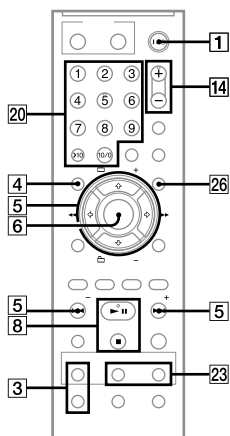
数字／文字入力ボタンを使ってCDやMDの曲番を選ぶには

数字／文字入力ボタン⑳で曲番を入力します。
10曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを押したあと、表示窓に表示される＊印の桁数にしたがって、数字／文字入力ボタン⑳を押します。
例）20曲目を選ぶときは

- ＊印が2桁表示された場合は、2、10/0の順に押します。
- ＊印が3桁表示された場合は、10/0、2、10/0の順に押します。

ご注意

テープを聞くときは、テープの絡まり防止のため、あらかじめテープのたるみをとってから、テープを入れてください。

ラジオを聞く

1 I/⏻ 電源ボタン1を押して、電源を入れる。

2 チューナー／バンドボタン3をくり返し押して、「FM」または「AM」を選ぶ。

3 選局＋/–ボタン5を押したままにし、表示窓の数字が動き始めたら指を離す。

ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「受信中」と「ステレオ」(FMステレオ放送のときのみ)が点灯します。
受信できなかったときは、選局＋/–ボタン5をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

4 音量＋/–ボタン14を押して、音量を調節する。

FMステレオ放送受信中、雑音が多いときは

FMステレオ／モノラルボタン23をくり返し押して、「モノラル」を点灯させます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。

ラジオ局を登録する

受信状態の良いラジオ局を自動的に登録します(オートプリセット)。次からは登録した番号(プリセット番号)を選ぶだけで選局することができます。
FM放送は20局まで、AM放送は10局まで登録することができます。

1 I/⏻ 電源ボタン1を押して、電源を入れる。

2 チューナー／バンドボタン3を押す。

3 設定ボタン4を押す。

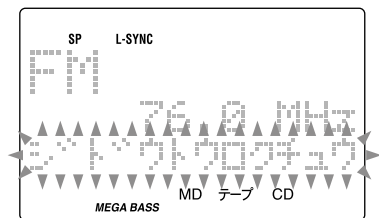
4 ↑/↓ボタン5をくり返し押して「オートプリセット」を選び、決定ボタン6を押す。

地域名が表示されます。

次のページにつづく

聞く

5 ♠/♣ボタン5をくり返し押して地域名を選び、決定ボタン6を押す。

ラジオ局の自動登録が始まります。
プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ登録されます。
FMからAMへ連続して登録され、自動登録が終わると、プリセット番号の1番に登録されたラジオ局を受信します。

自動登録される周波数が、本機にあらかじめ登録されているラジオ局と一致した場合は、ラジオ局名（64 ～ 66ページ）も一緒に登録されます。

ちょっと一言

停電になったり、電源コードを抜いたりしても、記憶させたラジオ局は約1日保持されます。

自動登録を途中でやめるには

■ 停止ボタン8を押します。

自動登録できなかったラジオ局があるときや、特定のプリセット番号に登録するには

1 チューナー／バンドボタン3をくり返し押して、「FM」または「AM」を選ぶ。

2 選局＋/–ボタン5をくり返し押して、登録したいラジオ局の周波数に合わせる。

3 放送局登録ボタン23を押す。
プリセット番号が点滅します。

4 ♠/♣ボタン5をくり返し押してプリセット番号を選び、決定ボタン6を押す。

登録したラジオ局に名前を付けるには

1 「登録したラジオ局を聞く」の手順にしたがって、名前を変えたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ。

2 メニューボタン26を押す。
文字入力画面になり、カーソルが点滅します。

3 「名前をつける」（35ページ）の手順3 ～ 5にしたがって名前を付ける（最大10文字まで）。
名前が登録されます。

登録したラジオ局を聞く

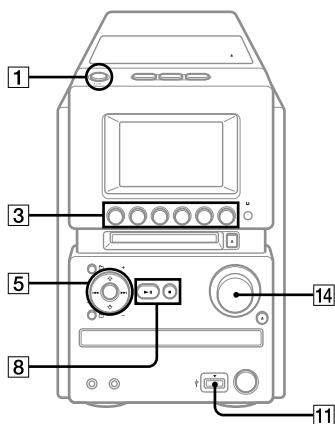
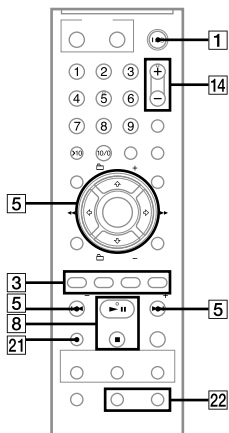
1 チューナー／バンドボタン3をくり返し押して、「FM」または「AM」を選ぶ。

2 プリセット+/–ボタン5をくり返し押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ。

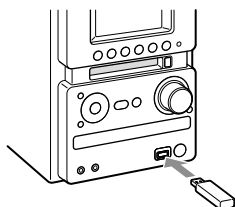
ちょっと一言

数字／文字入力ボタン20を使って、プリセット番号を選ぶこともできます。

“ウォークマン”を聞く

別売りの“ウォークマン”を本機とつないで、“ウォークマン”の音楽を聞くことができます。本機で再生できるデータ形式はMP3、WMA、AAC、ATRACです。
対応機種について詳しくは、「本機と接続できる“ウォークマン”」(68ページ)をご覧ください。

1　I/⏻ 電源ボタン1を押して、電源を入れる。

2　ウォークマンボタン3を押す。

3　“ウォークマン”をウォークマン接続端子11につなぐ。

“ウォークマン”によっては、USBケーブルを使って本機につなぎます。“ウォークマン”に付属のUSBケーブルをお使いください。“ウォークマン”の取扱説明書も合わせてご覧ください。
“ウォークマン”を接続すると、「ヨミコミチュウ」が表示され、本機が“ウォークマン”を認識すると、“ウォークマン”のアルバム数が表示されます。

ご注意

本機が“ウォークマン”を認識するまで時間がかかる場合があります。

4　►II 再生／一時停止ボタン8を押す。

再生が始まります。

5　音量+/–ボタン14を押して、音量を調節する。

聞く

次のページにつづく

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■ 停止ボタン8を押す。
一時停止する	►II 再生／一時停止ボタン8を押す。 もう一度押すと再生を再開します。
曲を選ぶ	I◄◄/►►Iボタン5をくり返し押す。
アルバムを選ぶ	+/–ボタン5をくり返し押す。
曲中の聞きたい部分を探す	再生中に◄◄/►►ボタン5を押し続け、聞きたいところで指を離す。
“ウォークマン”の情報を見る*	表示切換ボタン22をくり返し押す。
“ウォークマン”をはずす	■ 停止ボタン8を押して、“ウォークマン”を停止させてからはずす。

* 停止中は“ウォークマン”の残容量、再生中は再生中の曲のタイトル、アルバム、アーティスト名が表示されます。

曲をくり返し聞くには

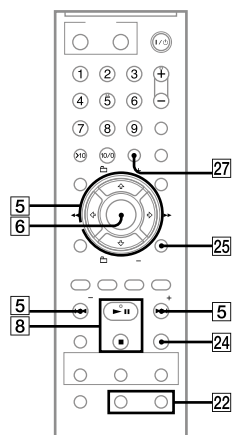
リピートボタン21をくり返し押して、「REP」（全曲リピート再生）か「REP1」（1曲リピート再生）を点灯させます。
「REP」は再生中の“ウォークマン”の全曲を5回くり返します。「REP1」は再生中の1曲だけをくり返します。

ご注意

- USBハブを介して、本機と“ウォークマン”を接続しないでください。
- 本機は“ウォークマン”の動作の全てを保証するものではありません。

CD/MD/“ウォークマン”の再生モードを変えて聞く

再生モードは下記のように変わります。

- CD/MDの場合
  ノーマル再生→シャッフル再生→プログラム再生
- “ウォークマン”の場合
  ノーマル再生→アルバム再生→シャッフル再生→アルバムシャッフル再生→プログラム再生

MDのグループを指定して聞く

1 「CD/MD/テープを聞く」（17ページ）の手順1 ～ 3にしたがって、再生の準備をする。

2 MDグループボタン25を押して、「グループ」を点灯させる。

3 +/–ボタン5をくりかえし押して、聞きたいグループを選ぶ。

4 ►II 再生／一時停止ボタン8を押す。

再生が始まります。グループ内の最後の曲の再生が終わると停止します。

ちょっと一言

グループを作るには、「曲を1つのグループにまとめる」（41ページ）をご覧ください。

“ウォークマン”のアルバムを指定して聞く

1 **「“ウォークマン”を聞く」(21ページ)の手順1 ～ 3にしたがって、再生の準備をする。**

2 **停止中に再生モードボタン㉔をくり返し押して、「WM」の横に「◎」を表示させる。**

3 **□+/–ボタン⑤をくりかえし押して、聞きたいアルバムを選ぶ。**

4 **►II 再生/一時停止ボタン⑧を押す。**

再生が始まります。アルバム内の最後の曲の再生が終わると停止します。

順不同に曲を聞く（シャッフル再生）

CDやMD、“ウォークマン”に入っている全曲を順不同に再生します。

1 **「CD/MD/テープを聞く」(17ページ)、「“ウォークマン”を聞く」(21ページ)の手順1 ～ 3にしたがって、再生の準備をする。**

2 **停止中に再生モードボタン㉔をくり返し押して、「SHUF」を点灯させる。**

MDや“ウォークマン”では、指定したグループやアルバム内の曲だけをシャッフル再生することもできます。
MDの場合は、「MDのグループを指定して聞く」(22ページ)の手順2 ～ 3を行います。
“ウォークマン”の場合は、再生モードボタン㉔をくり返し押して「WM」の横の「◎」と「SHUF」を一緒に点灯させてください。

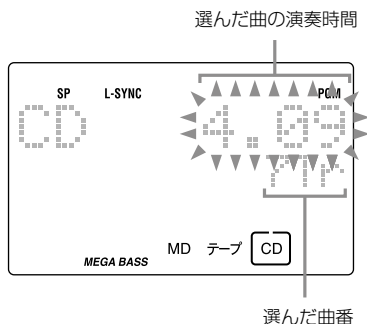
3 **►II 再生/一時停止ボタン⑧を押す。**

シャッフル再生が始まります。

好きな順に曲を聞く（プログラム再生）

1 **「CD/MD/テープを聞く」(17ページ)、「“ウォークマン”を聞く」(21ページ)の手順1 ～ 3にしたがって、再生の準備をする。**

2 **停止中に再生モードボタン㉔をくり返し押して、「PGM」を点灯させる。**

3 **I◄◄/►►Iボタン⑤をくり返し押して、プログラムしたい曲を選ぶ。**

4 **決定ボタン⑥を押す。**

選んだ曲がプログラムされます。

5 **手順3と4をくり返してプログラムする。**

25曲までプログラムできます。

6 **►II 再生/一時停止ボタン⑧を押す。**

プログラム再生が始まります。

聞く

次のページにつづく

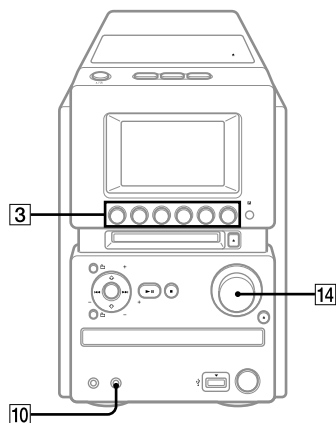
その他の操作

こんなときは	操作
ノーマル再生に戻す	停止中に再生モードボタン㉔をくり返し押して、「SHUF」や「PGM」を消す。
プログラムした曲の総数を調べる	停止中に表示切換ボタン㉒を押す。
プログラムを消す	手順4の後で取消しボタン㉗を押す。押すたびに最後にプログラムした曲から消えます。

ちょっと一言

- プログラムの合計演奏時間が一定時間（CD：100分、MD：1,000分）を超えたときや、"ウォークマン"の場合は、「－－.－－」と表示されます。
- プログラムした後で以下のことをすると、プログラムが消えます。
  - CDやMDを取り出す。
  - "ウォークマン"をはずす。
  - MDグループボタン㉕を押す。
- プログラム再生後、同じプログラムを再生するには、►II 再生／一時停止ボタン⑧を押します。

外部機器をつないで聞く

別売りのオーディオ機器などを本機につないで、本機のスピーカーで音声を聞くことができます。

1 別売りの機器を外部入力端子⑩につなぐ。

別売りのオーディオ接続コードを使って、別売りの機器のオーディオ出力端子につなぎます。

2 外部入力ボタン③を押す。

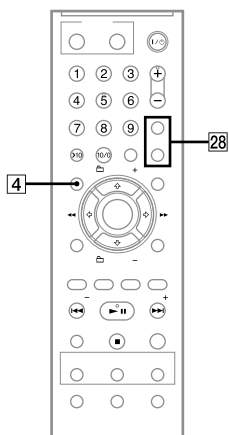
3 つないだ機器の再生を始める。

本機のスピーカーから音声が出力されます。再生について詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量つまみ⑭をまわして、音量を調節する。

ちょっと一言

つないだ機器の音を、MDやテープ、"ウォークマン"へ録音することもできます（26 ～ 32ページ）。

好みの音に変える

低音を強調するには

M. BASSボタン28をくり返し押して、「MEGA BASSオン」を選びます。

音質効果を楽しむには

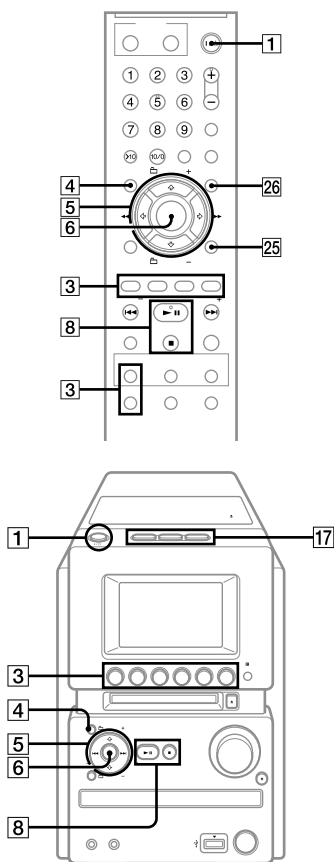
プリセットEQボタン28をくり返し押して、音質効果を選びます。

効果	音質
ロック	重低音と高音域を増強し、メリハリの効いた迫力の音質になります。
ポップ	低音域と高音域を増強し、軽やかで明るい感じになります。
ジャズ	低音域と高音域をはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。
ボーカル	中音域を強調し、ボーカルがきわだちます。
オフ	クラシックなど、ダイナミックレンジの広い音楽を聞くときに適しています。

ちょっと一言

設定ボタン4で設定項目の「サウンド」を選んで、MEGA BASSやプリセットEQの設定を変えることもできます。

MDに録音する

MDには以下の音源から録音することができます。
- CD
- テープ
- ラジオ
- “ウォークマン”
- 外部機器

1 **I/⏻ 電源ボタン1を押して、電源を入れる。**

2 **録音用のMDを入れ、MDボタン3を押す。**

MDに新しいグループを作って録音する場合は、MDグループボタン25を押して「グループ」を点灯させます。
すでに「グループ」が点灯している場合は、MDグループボタン25を押して「グループ」を一度消灯させてから、再度点灯させてください。
既存のグループの中に録音する場合は、🗀+/–ボタン5をくりかえし押して、録音先のグループを選びます。

3 **メニューボタン26を押す。**

編集設定画面が表示されます。

4 **↑/↓ボタン5をくり返し押して「MDキノウセッテイ？」を選び、決定ボタン6を押す。**

MD機能設定画面が表示されます。

5 **↑/↓ボタン5をくり返し押して「ロクオンモード」を選び、決定ボタン6を押す。**

6 **↑/↓ボタン5をくり返し押して録音モードを選び、決定ボタン6を押す。**

録音モード	録音可能時間*
SP（SPステレオ録音）	80分
LP2**（LP2ステレオ録音）	160分
LP4**（LP4ステレオ録音）	320分
MONO（モノラル録音）	160分

* 80分ディスク使用時

** LP2/LP4ステレオ録音した曲は、MDLPに対応していない他の機器では再生できません。

7 **メニューボタン26を押す。**

MD機能設定画面が消えます。

8 **録音元の音源を準備する。**

CDから

CDを入れ、CDボタン3を押します(17 ～ 18ページ)。

テープから

テープを入れ、テープボタン3を押します(17 ～ 18ページ)。

ラジオから

チューナー／バンドボタン3を押して、録音したいラジオ局を受信します(19ページ)。

"ウォークマン"から

ウォークマンボタン3を押して、"ウォークマン"を本機につなぎます(21ページ)。
アルバムを指定して録音するには、「"ウォークマン"のアルバムを指定して聞く」(23ページ)の手順2 ～ 3を行います。

外部機器から

外部機器を本機につなぎ、外部入力ボタン3を押します(24ページ)。

9 **録音を始める。**

CDから

CDが停止中に、本体のMDへワンタッチ録音ボタン17を押します。
高速録音が始まり、CDの全曲が録音されます(高速シンクロ録音)。
高速シンクロ録音中は音が出ません。録音が終わると自動的に停止します。

テープから

テープが停止中または再生中に、本体のMDへワンタッチ録音ボタン17を押します。
録音が始まり、テープの片面の録音が終わると自動的に停止します。
裏面を続けて録音する場合は、テープを裏返して入れ、本体のMDへワンタッチ録音ボタン17を押します。

ラジオから

ラジオ局を受信中に、本体のMDへワンタッチ録音ボタン17を押します。

"ウォークマン"から

"ウォークマン"が停止中に、本体のMDへワンタッチ録音ボタン17を押します。
録音が始まり、"ウォークマン"の全曲が録音されます(シンクロ録音)。
録音が終わると自動的に停止します。

外部機器から

本体のMDへワンタッチ録音ボタン17を押してから、本機につないだ機器を再生します。

録音を途中で止めるには

■ 停止ボタン8を押します。

CDから通常速度で録音するには

工場出荷時は、CDからMDへの録音速度は高速に設定されています。通常速度で録音するには、下記の手順で設定してください。

1 停止中に、設定ボタン4を押す。
2 ↑/↓ボタン5をくり返し押して「MDロクオンソクド」を選び、決定ボタン6を押す。
3 ↑/↓ボタン5をくり返し押して「CD >> MD ×1」を選び、決定ボタン6を押す。
録音速度を高速に戻すには、手順3で「CD >> MD×4」を選びます。

再生中の曲を録音するには

CDや"ウォークマン"の曲を再生中に、本体のMDへワンタッチ録音ボタン17を押します。
再生中の曲の頭に戻り、録音が始まります。
録音が終わると、自動的に停止します。

CDや"ウォークマン"の好きな曲だけを録音するには

録音を始める前に、「好きな順に曲を聞く」(23ページ)の手順1 ～ 5を行います。
CDから録音する場合、録音速度が高速(CD >> MD×4)に設定されていても通常速度で録音されます。録音中は音が出ません。

次のページにつづく

曲番を付けるには

CDや“ウォークマン”からMDに録音するときは、自動的に曲番が付きます。
テープやラジオ、外部機器から録音するときは、録音中に曲番を付けたいところで本体のMDへワンタッチ録音ボタン⑰を押します（ただしテープから録音する場合、テープが停止中の状態から録音を始めると、本体のMDへワンタッチ録音ボタン⑰を押しても曲番は付きません）。
曲番を自動で付けるように設定することもできます。詳しくは、「曲番を自動で付ける」（45ページ）をご覧ください。

ご注意

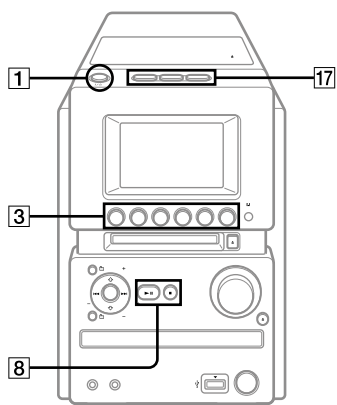
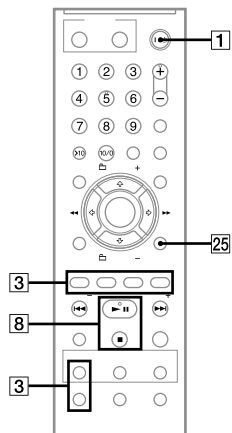
- 録音した後にMDを取り出したり、本機の電源を切ると、「TOC」が点滅し、「TOCヲカキコミチュウデス」が表示されます。「TOC」が点滅中は、曲番や曲順などの録音情報（TOC）を書き込み中のため、電源プラグをコンセントから抜かないでください。正しくTOCが記録されず、再生できなくなります。
- シンクロ録音時は、CDや“ウォークマン”のリピート再生やシャッフル再生は自動的に解除されます。
- シンクロ録音するときは、CDやテープ、“ウォークマン”の再生時間よりも残り時間が長い録音用MDを使用してください。
- シンクロ録音は一時停止できません。

ちょっと一言

- ラジオ局を録音するときに、ラジオ局名がある場合には、ラジオ局名も記録されます。
- “ウォークマン”から録音するときは、“ウォークマン”で付けた曲名などの情報も記録されます。

テープに録音する

テープには以下の音源から録音することができます。

- CD
- MD
- ラジオ
- “ウォークマン”
- 外部機器

1 I/⏻ 電源ボタン1を押して、電源を入れる。

2 録音用のテープを入れる。

TYPE I（ノーマル）のテープをお使いください。

3 録音元の音源を準備する。

CDから

CDを入れ、CDボタン3を押します（17〜18ページ）。

MDから

MDを入れ、MDボタン3を押します（17〜18ページ）。
グループを指定して録音するには、「MDのグループを指定して聞く」（22ページ）の手順2〜3を行います。

ラジオから

チューナー／バンドボタン3を押して、録音したいラジオ局を受信します（19ページ）。

"ウォークマン"から

ウォークマンボタン3を押して、"ウォークマン"を本機につなぎます（21ページ）。
アルバムを指定して録音するには、「"ウォークマン"のアルバムを指定して聞く」（23ページ）の手順2〜3を行います。

外部機器から

外部機器を本機につなぎ、外部入力ボタン3を押します（24ページ）。

4 録音を始める。

CDから

CDが停止中に、本体のテープへワンタッチ録音ボタン17を押します。
録音が始まり、CDの全曲が録音されます（シンクロ録音）。
録音が終わると自動的に停止します。
テープの片面への録音が終わると、「テープヲイレカエテクダサイ」と表示されるので、テープを裏返して入れ、本体のテープへワンタッチ録音ボタン17を押します。

MDから

MDが停止中に、本体のテープへワンタッチ録音ボタン17を押します。
録音が始まり、MDの全曲が録音されます（シンクロ録音）。
テープの片面への録音が終わると自動的に停止します。

ラジオから

ラジオ局を受信中に、本体のテープへワンタッチ録音ボタン17を押します。

"ウォークマン"から

"ウォークマン"が停止中に、本体のテープへワンタッチ録音ボタン17を押します。
録音が始まり、ウォークマンの全曲が録音されます（シンクロ録音）。
テープの片面への録音が終わると自動的に停止します。

外部機器から

本体のテープへワンタッチ録音ボタン17を押してから、本機につないだ機器を再生します。

録音を途中で止めるには

■ 停止ボタン8を押します。

再生中の曲を録音するには

CDやMD、"ウォークマン"の曲を再生中に、本体のテープへワンタッチ録音ボタン17を押します。再生中の曲の頭に戻り、録音が始まります。録音が終わると、自動的に停止します。

CDやMD、"ウォークマン"の好きな曲だけを録音するには

録音を始める前に、「好きな順に曲を聞く」（23ページ）の手順1〜5を行います。

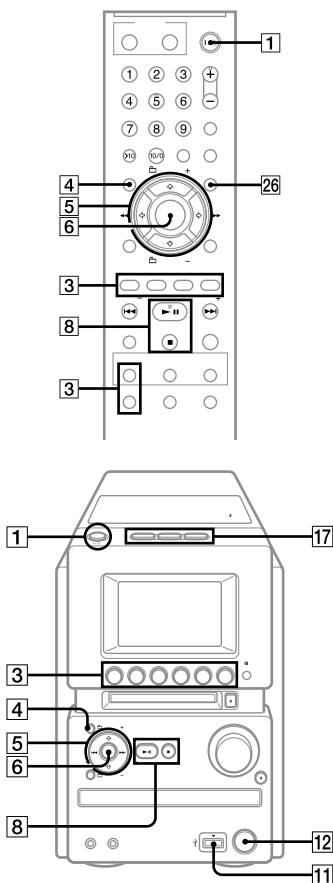
ご注意

- シンクロ録音時は、CDやMD、"ウォークマン"のリピート再生やシャッフル再生は自動的に解除されます。
- シンクロ録音は一時停止できません。

“ウォークマン”に録音する

“ウォークマン”には以下の音源から録音することができます。

- CD
- MD
- テープ
- ラジオ
- 外部機器

“ウォークマン”へはMP3（128kbps）形式で録音されます。
録音に必要な“ウォークマン”の空き容量の目安については、「本機と接続できる“ウォークマン”」（68ページ）をご覧ください。

1 I/⏻ 電源ボタン1を押して、電源を入れる。

2 “ウォークマン”をウォークマン接続端子11につなぐ。

3 録音元の音源を準備する。

CDから

CDを入れ、CDボタン3を押します（17 ～ 18ページ）。

MDから

MDを入れ、MDボタン3を押します（17 ～ 18ページ）。
グループを指定して録音するには、「MDのグループを指定して聞く」（22ページ）の手順2 ～ 3を行います。

テープから

テープを入れ、テープボタン3を押します（17 ～ 18ページ）。

ラジオから

チューナー／バンドボタン3を押して、録音したいラジオ局を受信します（19ページ）。

外部機器から

外部機器を本機につなぎ、外部入力ボタン3押します（24ページ）。

4 録音を始める。

CDから

CDが停止中に、本体のウォークマンへワンタッチ録音ボタン17を押します。
高速録音が始まり、CDの全曲が録音されます（高速シンクロ録音）。
高速シンクロ録音中は音が出ません。録音が終わると自動的に停止します。

MDから

MDが停止中に、本体のウォークマンへワンタッチ録音ボタン⑰を押します。
録音が始まり、MDの全曲が録音されます（シンクロ録音）。
録音が終わると自動的に停止します。

テープから

テープが停止中または再生中に、本体のウォークマンへワンタッチ録音ボタン⑰を押します。
録音が始まり、テープの片面の録音が終わると自動的に停止します。
裏面を続けて録音する場合は、テープを裏返して入れ、本体のウォークマンへワンタッチ録音ボタン⑰を押します。

ラジオから

ラジオ局を受信中に、本体のウォークマンへワンタッチ録音ボタン⑰を押します。

外部機器から

本体のウォークマンへワンタッチ録音ボタン⑰を押してから、本機につないだ機器を再生します。

録音を途中で止めるには

■ 停止ボタン⑧を押します。

CDから通常速度で録音するには

工場出荷時は、CDから"ウォークマン"への録音速度は高速に設定されています。通常速度で録音するには、下記の手順で設定してください。

1 停止中に、設定ボタン④を押す。

2 ↑/↓ボタン⑤をくり返し押して「WMロクオンソクド」を選び、決定ボタン⑥を押す。

3 ↑/↓ボタン⑤をくり返し押して「CD >> WM ×1」を選び、決定ボタン⑥を押す。
録音速度を高速に戻すには、手順3で「CD >> WM×4」を選びます。

CDから"ウォークマン"にワンタッチ録音するには

本体のCD→ウォークマン録音ボタン⑫を押します。
本機のどの音源を選んでいても、ボタンひとつでCDの全曲を"ウォークマン"に録音することができます。高速シンクロ録音され、録音が終わると自動的に停止します。録音中は音が出ません。

再生中の曲を録音するには

CDやMDの曲を再生中に、本体のウォークマンへ録音ボタン⑰を押します。再生中の曲の頭に戻り、録音が始まります。録音が終わると、自動的に停止します。

CDやMDの好きな曲だけを録音するには

録音を始める前に、「好きな順に曲を聞く」（23ページ）の手順1 〜 5を行います。
CDから録音する場合、録音速度が高速（CD >> WM×4）に設定されていても通常速度で録音されます。録音中は音が出ません。

録音した曲を削除するには

録音したアルバムや曲を"ウォークマン"から削除することができます。

1 フォルダ+/−ボタン⑤、⏮/⏭ボタン⑤をくり返し押して、削除したいアルバムまたは曲を選ぶ。

2 メニューボタン㉖を押す。
手順1でアルバムを選んだときは、「ショウキョ」が表示されます。
手順1で曲を選んだときは、「ショウキョ」と「タイトルヘンシュウ」が表示されます。
↑/↓ボタン⑤をくり返し押して「ショウキョ」を選びます。

3 決定ボタン⑥を押す。
「アルバムショウキョ」または「トラックショウキョ」が表示されます。

4 決定ボタン⑥を押す。
「アルバムショウキョ？」または「トラックショウキョ？」が表示されます。

5 決定ボタン⑥を押す。
指定したアルバムまたは曲が削除されます。

録音する

次のページにつづく

曲番を付けるには

CDやMDから"ウォークマン"に録音するときは、自動的に曲番が付きます。
テープやラジオ、外部機器から録音するときは、30分単位で曲番が付きますが、録音中に曲番を付けたいところで本体のウォークマンへワンタッチ録音ボタン⑰を押して付けることもできます。

自動命名機能について

各音源から"ウォークマン"へ録音すると、録音した曲やアルバムに、以下のように名前が付きます。名前は後で変更することができます。

CDから録音した場合

- タイトル名：「TR00001」～「TR65535」
- アルバム名：「CD00001」～「CD65535」
- アーティスト名：「CD00001」～「CD65535」

MDから録音した場合

- タイトル名：「TR00001」～「TR65535」、またはMDで付けた曲名
- アルバム名：「MD00001」～「MD65535」
- アーティスト名：「MD00001」～「MD65535」

テープから録音した場合

- タイトル名：「TR00001」～「TR65535」
- アルバム名：「TAP00001」～「TAP65535」
- アーティスト名：「TAP00001」～「TAP65535」

ラジオから録音した場合

- タイトル名：「TR00001」～「TR65535」
- アルバム名：「FM00001」～「FM65535」、または「AM00001」～「AM65535」
- アーティスト名：「FM00001」～「FM65535」、または「AM00001」～「AM65535」

外部機器から録音した場合

- タイトル名：「TR00001」～「TR65535」
- アルバム名：「AUX00001」～「AUX65535」
- アーティスト名：「AUX00001」～「AUX65535」

曲名を変更するには

録音したアルバムや曲の名前を変更することができます。

1. 📁+/–ボタン⑤、⏮/⏭ボタン⑤をくり返し押して名前を変更したい曲を選ぶ。
2. メニューボタン㉖を押す。
3. ⬆/⬇ボタン⑤をくり返し押して「タイトルヘンシュウ」を選び、決定ボタン⑥を押す。
4. ⬆/⬇ボタン⑤をくり返し押して「タイトルヘンシュウ」、「アルバムヘンシュウ」、「アーティストヘンシュウ」のいずれかを選び、決定ボタン⑥を押す。
5. 「名前を付ける」（35ページ）の手順3 ～ 5にしたがって名前を変更する（最大60文字まで）。

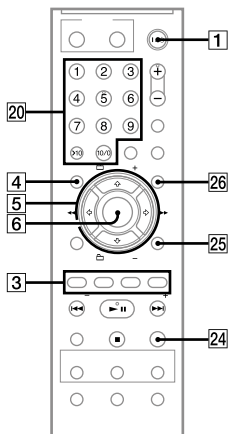
ご注意

- シンクロ録音時は、CDやMDのリピート再生やシャッフル再生は自動的に解除されます。
- シンクロ録音は一時停止できません。
- 録音した曲が多いときや、削除する曲が多いときは、書き込み処理に時間がかかることがあります。
- "ウォークマン"へ録音中や、録音した曲を削除中は、"ウォークマン"を本機からはずさないでください。"ウォークマン"に入っているデータや"ウォークマン"自体が壊れることがあります。

ちょっと一言

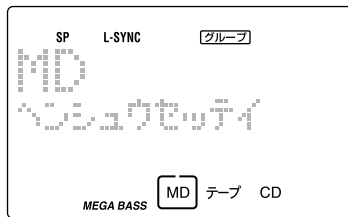
アルバム名、アーティスト名を変更すると、同じアルバム内のすべての曲についているアルバム名、アーティスト名が変更されます。

メニュー操作のしかた

メニューを使ってMDの編集をすることができます。メニュー操作は下記の手順で行います。

1 I/⏻ 電源ボタン1を押して、電源を入れる。

2 編集したいMDを入れる。
誤消去防止つまみが閉じていることを確認してください(52ページ)。

3 MDボタン3を押す。
表示窓に「SHUF」や「PGM」が点灯しているときは、再生モードボタン24をくり返し押して表示を消してください。
グループ編集(41 ～ 42ページ)をする場合は、MDグループボタン25を押して、「グループ」を点灯させます。

4 メニューボタン26を押す。
編集設定画面が表示されます。

5 ↑/↓ボタン5をくり返し押して編集項目を選び、決定ボタン6を押す。

6 手順5をくり返す。
最後に決定ボタン6を押した時点で設定が確定します。

途中で編集をやめるには

メニューボタン26を押します。

ご注意

編集した後にMDを取り出したり本機の電源を切ると、「TOC」が点滅し、「TOCヲカキコミチュウデス」が表示されます。「TOC」が点滅中は、曲番や曲順などの編集情報(TOC)を書き込み中のため、電源プラグをコンセントから抜かないでください。正しくTOCが記録されず再生できなくなります。

ちょっと一言

曲の編集中や編集後は、編集に関係している曲が確認のために再生されます。

次のページにつづく

メニュー一覧

編集できる項目は以下のとおりです。

項目		機能	参照ページ
タイトルヘンシュウ（タイトル編集）	ディスク	ディスク名をつける	35ページ
	グループ	グループ名をつける	35ページ
	トラック	曲名をつける	35ページ
タイトルショウキョ（タイトル消去）	ディスク	ディスク名を消す	36ページ
	グループ	グループ名を消す	36ページ
	トラック	曲名を消す	36ページ
トラックショウキョ（トラック消去）		1曲を消す	38ページ
トラックイドウ（トラック移動）		曲の順番を変える	39ページ
トラックケツゴウ（トラック結合）		2つの曲を1つにする	40ページ
トラックブンカツ（トラック分割）		曲を2つに分ける	41ページ
A-Bショウキョ（A-B消去）		曲の一部分を消す	38ページ
スベテサクジョ（全て削除）		MDの全曲を消す	39ページ
グループサクセイ（グループ作成）		曲を1つのグループにまとめる	41ページ
グループカイジョ（グループ解除）		グループを解除する	42ページ
グループスベテカイジョ（グループ全て解除）		すべてのグループを一度に解除する	42ページ
モトニモドス（元に戻す）		1つ前の編集操作を取り消す	43ページ
オンセイレベル（S.F）チョウセイ（音声レベル（S.F）調整）	トラックレベル	SPステレオ録音した曲の音声レベルを変更する	43ページ
	フェードイン	SPステレオ録音した曲の始まりの音量を徐々に大きくする	44ページ
	フェードアウト	SPステレオ録音した曲の終わりの音量を徐々に小さくする	44ページ
MDキノウセッテイ（MD機能設定）	トラックマーク	録音元の音声レベルに合わせて、曲番を自動で付ける、付けないを設定する	45ページ
	レベル	録音レベル（-72 dBから0dB）を設定する	45ページ
	スマートスペース	ラジオやテープ、本機につないだ外部機器から録音するときに、曲間をそろえる	46ページ
	ロクオンモード（録音モード）	MDに録音できる時間を変更する（SP/LP2/LP4/MONO）	46ページ

名前を付ける

ディスク名やグループ名、曲名を付けたり、変更したりすることができます。

入力できる文字の種類

- カタカナ
- アルファベットA ～ Zの大文字、小文字
- 数字0 ～ 9
- 記号

1枚のMDに入力できる文字数

- アルファベット／数字／記号で最大約1,700文字
- カタカナのみで最大約800文字

ご注意

グループが作られているMDのディスク名、グループ名を付けるときは、手順1でMDグループボタン㉕を押して「グループ」を表示させ、グループ機能を有効にしてください。「グループ」を表示させない状態でディスク名を付けると、グループ管理情報が削除され、グループが正しく再生されないことがあります。

1 **「メニュー操作のしかた」（33ページ）の手順1 ～ 5にしたがって「タイトルヘンシュウ？」を選び、決定ボタン⑥を押す。**

2 **名前を付けるものを選ぶ。**

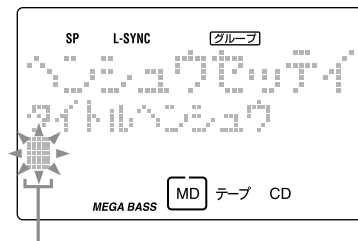
ディスク名

↑/↓ボタン⑤をくり返し押して「ディスク」を選び、決定ボタン⑥を押します。

グループ名

↑/↓ボタン⑤をくり返し押して「グループXX」（「XX」はグループ番号）を選びます。複数のグループがある場合は、←/→ボタン⑤をくり返し押して名前を付けたいグループ番号を選び、決定ボタン⑥を押します。

曲名

↑/↓ボタン⑤をくり返し押して名前を付けたい「トラックXXX」（「XXX」はトラック番号）を選び、決定ボタン⑥を押します。

カーソル

3 **設定ボタン④をくり返し押して、入力したい文字の種類を選ぶ。**

文字の種類	表示
アルファベット大文字/スペース/記号	モジセンタク AB
アルファベット小文字/スペース/記号	モジセンタク ab
カタカナ/カタカナ小文字*/濁点・半濁点	モジセンタク ア
数字	モジセンタク 12

次のページにつづく

4 数字/文字入力ボタン⑳で文字を入力する。

入力できる文字について詳しくは、「文字入力について」(37ページ)をご覧ください。
次の文字を入力するには、➡ボタン5を押してカーソルを動かします。
文字を消すときは、⬅/➡ボタン5をくり返し押して削除したい文字を選び、取消しボタン㉗を押します。

5 手順3と4をくり返して名前を付け、決定ボタン6を押す。

名前が登録されます。

ご注意

- グループ機能使用時のみ、グループに名前を付けることができます。
- グループ機能使用時に曲名を付ける場合は、選択しているグループ内の曲のみ名前を付けることができます。
- ディスク名に、「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合があります。

ちょっと一言

曲名は再生中でも付けられます。名前を付け終わるまで再生がくり返されます。

名前を消す

1 「メニュー操作のしかた」(33ページ)の手順1 ～ 5にしたがって「タイトルショウキョ？」を選び、決定ボタン6を押す。

2 名前を消すものを選ぶ。

ディスク名

⬆/⬇ボタン5をくり返し押して「ディスク」を選びます。

グループ名

⬆/⬇ボタン5をくり返し押して「グループXX」(「XX」はグループ番号)を選びます。
複数のグループがある場合は、⬅/➡ボタン5をくり返し押して名前を消したいグループ番号を選びます。

曲名

⬆/⬇ボタン5をくり返し押して名前を消したい「トラックXXX」(「XXX」はトラック番号)を選びます。

3 決定ボタン6を押す。

名前が消えます。

ご注意

- グループ機能使用時のみ、グループの名前を消すことができます。
- グループ機能使用時に曲名を消す場合は、選択しているグループ内の曲のみ名前を消すことができます。
- 曲が登録されていないグループの名前は消せません。
- Net MD機器を使ってパソコンからチェックアウト(転送)した曲の名前は消せません。

文字入力について

リモコンの数字／文字入力ボタン20の各ボタンには文字が割り当てられています。ボタンを押すたびに以下のように文字が変わります。入力する文字の種類（アルファベット大文字・小文字、カタカナ、数字）を切り換えるには、設定ボタン4を押します。
↑/↓ボタン5でも文字を入力することができます。

ボタン	アルファベット大文字 モジセンタク AB	アルファベット小文字 モジセンタク ab	カタカナ モジセンタク ア	数字 モジセンタク 12
1	' - / , . ( ) : ! ?	' - / , . ( ) : ! ?	アイウエオ ァィゥェォ	1
2	A B C	a b c	カキクケコ	2
3	D E F	d e f	サシスセソ	3
4	G H I	g h i	タチツテト ッ	4
5	J K L	j k l	ナニヌネノ	5
6	M N O	m n o	ハヒフヘホ	6
7	P Q R S	p q r s	マミムメモ	7
8	T U V	t u v	ヤユヨ ャュョ	8
9	W X Y Z	w x y z	ラリルレロ	9
>10	割り当てなし	割り当てなし	゛ ゜ ー ， ．	割り当てなし
10/0	スペース	スペース	ワヲン	0
↑/↓	A～Z a～z 0～9 ' - / , . ( ) : ! ? & + < > _ = " ; # $ % @ * ' ア～ッ			

ご注意

゛（濁点）は「ウ」と「カ／サ／タ／ハ」の各行の文字の後、゜（半濁点）はハ行の文字の後のみ入力できます。

曲やグループを消す

録音した曲やグループを消すことができます。一度消した曲やグループは元に戻すことができません。消す前に、内容をよく確認してください。
消すには、次の3種類の方法があります。

- 1曲を消す
- 曲の一部分を消す
- 全曲を消す

ご注意

Net MD機器を使ってパソコンからチェックアウト（転送）した曲は消せません。

1曲を消す

1 「メニュー操作のしかた」（33ページ）の手順1 ～ 5にしたがって「トラック ショウキョ？」を選び、決定ボタン6を押す。

表示されている曲の再生が始まります。

2 ↑/↓ボタン5をくり返し押して消したい曲を選び、決定ボタン6を押す。

曲が消えます。消した曲より後の曲番は順に繰り上がます。

ご注意

グループ内の曲をすべて消すと、グループも消えます。

曲の一部分を消す

曲中の消したい範囲を指定して、その部分を消すことができます。

1 「メニュー操作のしかた」（33ページ）の手順1 ～ 5にしたがって「A-Bショウキョ？」を選び、決定ボタン6を押す。

表示されている曲の再生が始まります。

2 ↑/↓ボタン5をくり返し押して一部を消したい曲を選び、決定ボタン6を押す。

「カクニン」と「Aチテン ケッテイ？」が交互に表示され、消したい部分の始点（A地点）を設定するための再生が始まります。始点までの数秒間がくり返し再生されます。

3 再生される音を聞きながら、↑/↓ボタン5をくり返し押して、消したい部分の始点（A地点）を選ぶ。

1/86秒（1f(フレーム)*）ずつ位置をずらせます。秒、分単位でずらしたいときは、←/→ボタン5を押して、秒または分を点滅させてから、↑/↓ボタン5を押します。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置をずらせます。

4 決定ボタン6を押す。

「Bチテン セッテイ」が表示され、消したい部分の終点（B地点）を設定するための再生が始まります。

5 再生を続けて、消したい部分の終点（B地点）まで行き、決定ボタン6を押す。

「A-Bショウキョ」と「Bチテン ケッテイ？」が交互に表示され、A-B間を消したつなぎ目の部分がくり返し再生されます。

6 決定ボタン6を押す。

A-B部分が消えます。

全曲を消す

一度に、MDの全曲と全曲名、ディスク名、グループ名を消すことができます。

1 **「メニュー操作のしかた」(33ページ)の手順1 ～ 5にしたがって「スベテサクジョ？」を選び、決定ボタン⑥を押す。**

「スベテサクジョ？？」が表示されます。

2 **決定ボタン⑥を押す。**

MDの全曲と全曲名、ディスク名、グループ名が消えます。

曲の順番を変える

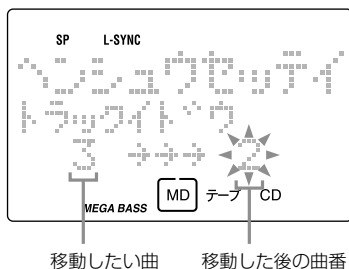
曲を好きな位置に移動させて、曲順を変えられます。曲順を変えると、曲番も順に付け直されます。

1 **「メニュー操作のしかた」(33ページ)の手順1 ～ 5にしたがって「トラックイドウ？」を選び、決定ボタン⑥を押す。**

表示されている曲の再生が始まります。

2 **↑/↓ボタン⑤をくり返し押して移動したい曲を選び、決定ボタン⑥を押す。**

3 **↑/↓ボタン⑤をくり返し押して移動した後の曲番を選ぶ。**

移動したい曲　移動した後の曲番

4 **決定ボタン⑥を押す。**

曲が移動します。

ご注意

移動先の曲番がグループに属する場合、移動先のグループに登録されます。また、グループ登録済みの曲の移動先の曲番が、グループ未登録の場合、移動した曲のグループ登録は解除されます。ただし、グループ機能が働いているときは、グループ内でしか曲は移動できません。

MDを編集する

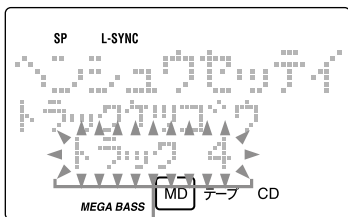
次のページにつづく

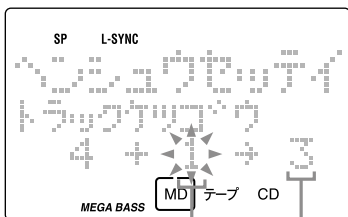
2つの曲を1つにする

連続した2つの曲をつないで1曲にすることができます。つないだ曲以降の曲番は、順に付け直されます。

1 **「メニュー操作のしかた」（33ページ）の手順1 ～ 5にしたがって「トラックケツゴウ？」を選び、決定ボタン[6]を押す。**

表示されている曲の再生が始まります。

2 **↑/↓ボタン[5]をくり返し押して前につなぎたい曲を選び、決定ボタン[6]を押す。**

前につなぎたい曲

3 **↑/↓ボタン[5]をくり返し押して、後につなぎたい曲を選ぶ。**

後につなぎたい曲　つないだ後の曲番

4 **決定ボタン[6]を押す。**

曲がつながります。
つないだ2曲の両方に曲名が付いている場合は、後ろの曲の曲名が消えます。

ご注意

- 別々のグループに登録された2つの曲をつなぐと、後の曲は前の曲が属するグループに登録され直します。また、グループ登録済みの曲とグループ未登録の曲をつなぐと、前の曲の属性と同じになります。ただし、グループ機能が働いているときは、グループ内でしか曲をつなげません。
- 録音モード（SPステレオ、LP2ステレオ、LP4ステレオ、モノラル）が同じ曲しかつなげません。
- Net MD機器を使ってパソコンからチェックアウト（転送）した曲はつなげません。

曲を2つに分ける

1つの曲を2つに分け、それぞれに頭出しのための曲番を付けることができます。分けた曲以降の曲番は、順に付け直されます。

1 「メニュー操作のしかた」(33ページ)の手順1 ～ 5にしたがって「トラックブンカツ？」を選び、決定ボタン6を押す。

表示されている曲の再生が始まります。

2 ↑/↓ボタン5をくり返し押して分けたい曲を選び、決定ボタン6を押す。

「カクニン」が表示され、分ける部分を設定するための再生が始まります。分ける部分の数秒間がくり返し再生されます。

3 再生される音を聞きながら、↑/↓ボタン5をくり返し押して、曲を分ける位置を調節する。

1/86秒(1f*(フレーム))ずつ位置をずらせます。
秒、分単位でずらしたいときは、←/→ボタン5を押して、秒または分を点滅させてから、↑/↓ボタン5を押します。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置がずらせます。

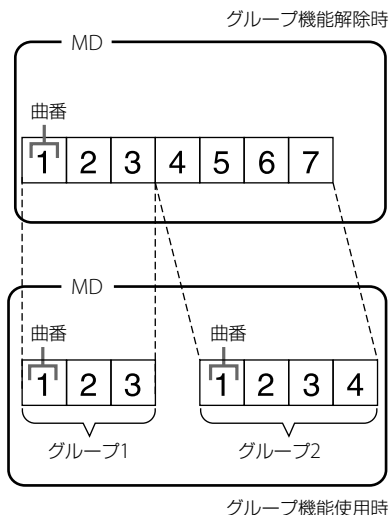
4 決定ボタン6を押す。

曲が分かれます。
分ける前に付いていた曲名は、前の曲だけに付き、後ろの曲には付きません。

ご注意

- 曲の先頭または最後では曲を分けられません。
- Net MD機器を使ってパソコンからチェックアウト(転送)した曲は分けられません。

曲を1つのグループにまとめる

連続する複数の曲を１つのグループにまとめることができます。CDアルバム別やアーティスト別などのグループに分けて管理するときに便利です。グループは99まで設定することができます。グループに分けると、各グループ内の曲番は１から順に付け直されます。

1 「メニュー操作のしかた」(33ページ)の手順1 ～ 5にしたがって「グループサクセイ？」を選び、決定ボタン6を押す。

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。

ご注意

グループ機能使用時のみ、グループを作成することができます。

2 「名前を付ける」(35ページ)の手順3 ～ 5にしたがってグループ名を付ける。

MDを編集する

次のページにつづく

3 ↑/↓ボタン5をくり返し押してグループの先頭にしたい曲を選び、決定ボタン6を押す。

4 ↑/↓ボタン5をくり返し押してグループの最後にしたい曲を選び、決定ボタン6を押す。

グループが設定され、最後に登録した曲の再生が始まります。

ご注意

- 連続していない曲はまとめることはできません。また、同じ曲を同時に別々のグループに登録することはできません。連続していない曲をまとめたい場合は、曲順を並べかえて（39ページ）、まとめたい曲を連続させてからグループ登録を行ってください。
- 手順2でグループ名を入力しないと、グループ名は「Group＊＊（グループ番号）」と表示されます。
- グループ機能を使って録音したMDは、他のグループ機能対応機器でも使えます。ただし、機器によってはグループ機能の動作が本機とは異なる場合があります。
- グループ機能の設定は、MDを取り出したり、本機の電源を切ったりしても記憶されています。
- グループ機能使用時は、グループに未登録の曲は表示、再生できません。
- 既存のグループに曲を追加するとグループ内の最後の曲の後に曲が追加されます。グループ機能解除時は、追加録音した曲以降の曲番が変わります。
- グループ管理情報が正しいフォーマットで記述されていないMDを挿入すると、「グループ」が点滅します。この場合、グループ機能は使えません。
- Net MD機器を使ってパソコンからチェックアウト（転送）した曲はグループ登録できません。

ちょっと一言

- グループ機能のない機器で録音した曲でもグループ登録することができます。
- グループを作るだけで曲を入れないときは、手順3で「トラックハンイシテイNone」を選びます。手順2でグループ名を入力しないと、「トラックハンイシテイNone」は選べません。

グループを解除する

グループを指定して、グループ設定を解除することができます。

1 「メニュー操作のしかた」（33ページ）の手順1 ～ 5にしたがって「グループカイジョ？」を選び、決定ボタン6を押す。

ご注意

グループ機能使用時のみ、グループ設定を解除することができます。

2 ←/→ボタン5をくり返し押して、グループ設定を解除したいグループを選ぶ。

3 決定ボタン6を押す。

グループが解除されます。

すべてのグループを一度に解除するには

1 手順1で「グループスベテカイジョ？」を選び、決定ボタン6を押します。
「グループスベテカイジョ？？」が表示されます。

2 決定ボタン6を押す。
MD内のすべてのグループ設定が解除されます。

ひとつ前の操作を取り消す

最後に行った編集操作を取り消し、その前のMDの内容に戻します。
ただし、編集後に次のいずれかの操作をした場合は取り消せません。

- 音声レベル（S.F）調整機能を使って編集操作をした。
- 他の編集操作をした。
- 録音操作をした。
- 電源を切ったり、MDを取り出したりした。
- 電源プラグをコンセントから抜いた。

1 「メニュー操作のしかた」（33ページ）の手順1 ～ 5にしたがって「モトニモドス？」を選ぶ。

取り消せる編集操作がないときは、「モトニモドス？」は表示されません。

2 決定ボタン6を押す。

最後に行った編集操作に応じて、次の項目が表示されます。

編集操作	項目
ディスク名や曲名を付ける	「タイトルヘンシュウ？」
付けた名前を消す	
新しいグループを作る	「グループ？」
1グループずつ解除する	
すべてのグループを一度に解除する	
曲の一部分を消す	「トラックショウキョ？」
1曲を消す	
全曲を消す	
曲順を変える	「トラックイドウ？」
1つの曲を2つに分ける	「トラックブンカツ？」
2つの曲を1つにする	「トラックケツゴウ？」

3 決定ボタン6を押す。

編集前のMDの内容に戻ります。

音声レベルを調整する

SPステレオ録音した曲の音声レベルを変更することができます。もとの曲は新しい音声レベルで上書きされます。また、フェードイン・フェードアウトを使うと、曲の頭が次第に大きく再生される曲や、曲の最後が次第に小さく再生される曲を作ることができます。

ご注意

Net MD機器を使ってパソコンからチェックアウト（転送）した曲の音声レベルは変更できません。

1曲全体の音声レベルを変える

1 「メニュー操作のしかた」（33ページ）の手順1 ～ 5にしたがって「オンセイレベル（S.F）チョウセイ？」を選び、決定ボタン6を押す。

2 ↑/↓ボタン5をくり返し押して「S.F チョウセイ トラックレベル？」を選び、決定ボタン6を押す。

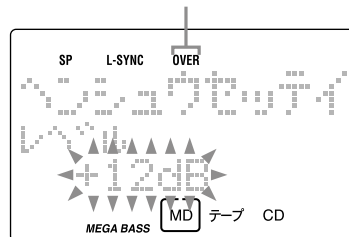
3 ↑/↓ボタン5をくり返し押して、音声レベルを変更したい曲を選び、決定ボタン6を押す。

「レベル0dB」が表示されます。

4 再生される音を聞きながら、↑/↓ボタン5をくり返し押して、音声レベルを変更する。

−12dBから+12dBの範囲内（2dB単位）で変更できます。

「OVER」が点灯しないように調節します。

次のページにつづく

5 決定ボタン[6]を押す。

「S.Fヘンシュウ OK?」が表示されます。

6 決定ボタン[6]を押す。

「S.Fヘンシュウ＊＊%」が表示され、音声レベルの書き換えが始まります。書き換えには、その曲の再生時間とほぼ同じかそれ以上の時間がかかります。
「カンリョウシマシタ」が表示されるまで、操作を途中で停止できません。

ご注意

- 音声レベル書き換え中に本機を揺らしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が破損して正しく記録されません。
- 音声レベルを変更した曲を再び元のレベルに戻しても、完全に元の音声レベルには戻りません。何度も変更すると音質が劣化します。
- タイマーが働いているときは、音声レベルを変更できません。

フェードイン・アウトする曲を作る

1 「メニュー操作のしかた」(33ページ)の手順1 ～ 5にしたがって「オンセイレベル(S.F)チョウセイ？」を選び、決定ボタン[6]を押す。

2 ↑/↓ボタン[5]をくり返し押して「S.Fヘンシュウ フェードイン？」または「S.Fヘンシュウ フェードアウト？」を選び、決定ボタン[6]を押す。

3 ↑/↓ボタン[5]をくり返し押して、フェードインまたはフェードアウトさせたい曲を選び、決定ボタン[6]を押す。

「ジカン5.0s」が表示されます。

4 再生される音を聞きながら、↑/↓ボタン[5]をくり返し押して、フェードインまたはフェードアウトする時間を調節する。

1秒から15秒の間(0.1秒単位)で調節できます。
フェードインまたはフェードアウトされる部分がくり返し再生されます。

5 決定ボタン[6]を押す。

「S.Fヘンシュウ OK?」が表示されます。

6 決定ボタン[6]を押す。

「S.Fヘンシュウ＊＊%」が表示され、フェードインまたはフェードアウト効果の書き込みが始まります。書き込みには、その曲の再生時間とほぼ同じかそれ以上の時間がかかります。
「カンリョウシマシタ」が表示されるまで、操作を途中で停止できません。

ご注意

- フェードインまたはフェードアウト効果の書き込み中に本機を揺らしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が破損して正しく記録されません。
- タイマーが働いているときは、音声レベルを変更できません。

録音時の設定をする

曲番を自動で付ける

ラジオやテープ、あるいは本機につないだ機器から録音するときに、曲番を自動的に付けるように設定することができます。曲番は、音源からの入力信号が約2秒以上続けて一定レベル以下になり、再び、そのレベルを越えたときに付きます（レベルシンクロ録音機能）。レベルを設定することもできます。右段の「録音レベルを設定する」をご覧ください。

1 「メニュー操作のしかた」（33ページ）の手順1 ～ 5にしたがって「MDキノウセッテイ？」を選び、決定ボタン6を押す。

MD機能設定画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタン5をくり返し押して「トラックマーク」を選び、決定ボタン6を押す。

3 ↑/↓ボタン5をくり返し押して「L-SYNC」を選び、決定ボタン6を押す。

「L-SYNC」が点灯します。

4 メニューボタン26を押す。

MD機能設定画面が消えます。

曲番を自動で付けるのをやめるには

手順3で「オフ」を選び、決定ボタン6を押します。
「L-SYNC」が消えます。「L-SYNC」が消えているときは、録音開始点にのみ曲番が付きます。

ご注意

- テープやラジオから録音するときは、雑音などにより自動的に付かないことがあります。
- レベルシンクロ録音中でも、次のときは曲番が付かないことがあります。
  — 曲の間が短くて一定レベル以下になるのが2秒未満のとき
  — 曲の途中でも2秒以上一定レベル以下になるとき
  — 4秒*以下の曲を録音したとき

* SPステレオ、モノラル、LP2ステレオ録音時（LP4ステレオ録音時は8秒以下）

ちょっとひと言

工場出荷時は、レベルシンクロ録音機能が働くように設定されています。

録音レベルを設定する

レベルシンクロ録音機能で、曲番を自動的に付けるための録音レベルを設定することができます。出荷時は–40dBに設定されています。テープやラジオなど、雑音が多く曲番が付きにくいときは、設定レベルを上げると曲番が付きやすくなります。

1 「メニュー操作のしかた」（33ページ）の手順1 ～ 5にしたがって「MDキノウセッテイ？」を選び、決定ボタン6を押す。

MD機能設定画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタン5をくり返し押して「レベル」を選び、決定ボタン6を押す。

3 ↑/↓ボタン5をくり返し押して入力信号の範囲を選ぶ。

–72dBから0dB（2dB単位）の間で調節できます。

4 決定ボタン6を押す。

5 メニューボタン26を押す。

MD機能設定画面が消えます。

次のページにつづく

曲間の時間を設定する

ラジオやテープ、本機につないだ外部機器から録音するときに、曲と曲の間に約3秒以上（30秒未満）の無音状態が続いたときは、無音部分を約3秒に短縮して録音することができます。

1 「メニュー操作のしかた」（33ページ）の手順1 ～ 5にしたがって「MDキノウセッテイ？」を選び、決定ボタン⑥を押す。

MD機能設定画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタン⑤をくり返し押して「スマートスペース」を選び、決定ボタン⑥を押す。

3 ↑/↓ボタン⑤をくり返し押して「オン」を選び、決定ボタン⑥を押す。

4 メニューボタン㉖を押す。

MD機能設定画面が消えます。

曲間を自動でそろえるのをやめるには

手順3で「オフ」を選び、決定ボタン⑥を押します。

ちょっと一言

工場出荷時はスマートスペース機能が働くように設定されています。

録音モードを設定する

録音モードは以下の４種類から選ぶことができます。

- SP（SPステレオ録音）
- LP2（LP2ステレオ録音）
- LP4（LP4ステレオ録音）
- MONO（モノラル録音）

録音モードを「LP2」または「LP4」にすると、録音時間を2倍または4倍（80分のMDなら160分または320分）にしてステレオ録音することができます（MDLP録音）。また「MONO」にすると、ステレオ信号をモノラルに変換して録音することで、録音時間が通常のステレオ録音の約2倍（80分のMDなら160分）になります。音質を重視される場合は、SPステレオ録音をおすすめします。

1 「メニュー操作のしかた」（33ページ）の手順1 ～ 5にしたがって「MDキノウセッテイ？」を選び、決定ボタン⑥を押す。

MD機能設定画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタン⑤をくり返し押して「ロクオンモード」を選び、決定ボタン⑥を押す。

3 ↑/↓ボタン⑤をくり返し押して録音モードを選び、決定ボタン⑥を押す。

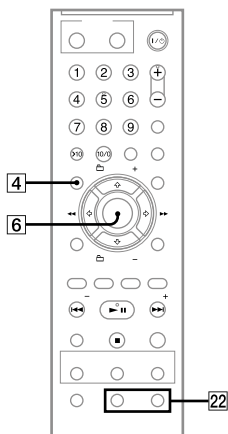
4 メニューボタン㉖を押す。

MD機能設定画面が消えます。

ご注意

- MDLP録音したMDは、MDLPに対応していない機器で再生することはできません。
- LP2/LP4ステレオ録音した曲は、MDLPに対応していない機器で再生や編集をしようとすると、「LP:」と表示され、再生や編集をすることはできません。
- 録音中に録音モードを変えることはできません。

その他の設定をする

画面の設定を変える

画面の明るさを変える

電源が入っているときと、切れているときの両方について設定することができます。

1 明るさボタン22を押す。

電源を入っているときは「パワーオンアカルサ」、切っているときは「パワーオフアカルサ」が表示されます。

2 明るさボタン22をくり返し押して「アカルイ」、「クライ」、「オフ」のいずれかを選び、決定ボタン6を押す。

ちょっと一言

設定ボタン4で設定項目の「アカルサ」を選んで、画面の明るさを変えることもできます。

節電モードにする

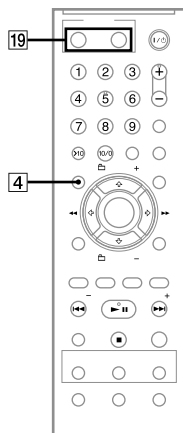
電源を切ったときに表示される時計表示を消して、消費電力を抑えます（節電モード）。

電源を切っているときに、表示切換ボタン22をくり返し押して、時計表示を消します。

ちょっと一言

節電モード時も、タイマーは働きます。

タイマーを使う

スリープタイマー、再生タイマー、録音タイマーの3種類のタイマーがあります。

スリープタイマーを使う

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

1 聞きたい音楽を再生する。

2 スリープタイマーボタン19をくり返し押して、時間または「オート」を選ぶ。

「オート」を選ぶと、100分たつと電源が切れます。指定した時間よりも前にCDやMD、テープ、本機につないだ“ウォークマン”の再生が終わると、自動的に電源が切れます。

スリープタイマーを途中で止めるには

手順2で「オフ」を選びます。

ちょっと一言

設定ボタン4で設定項目の「スリープ」を選んで、スリープタイマーを設定することもできます。

次のページにつづく

再生タイマーを使う

指定した曜日、時刻に音楽を聞くことができます。以下の音源を再生できます。

- CD
- MD
- テープ
- ラジオ
- “ウォークマン”

操作の前に時計を合わせてください(15ページ)。

1 音源を準備する。

CD/MD/テープ

CD、MD、テープを入れてください(17ページ)。

ラジオ

ラジオ局をプリセット登録してください(19ページ)。

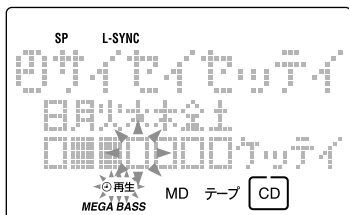
“ウォークマン”

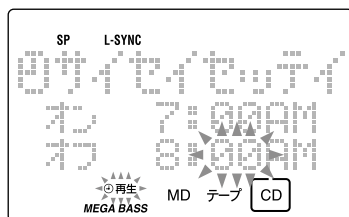
“ウォークマン”を本機につないでください(21ページ)。

2 タイマーの種類を選ぶ。

再生／録音タイマーボタン⑲をくり返し押して「サイセイ」を選び、決定ボタン6を押します。

3 設定したい曜日を選ぶ。

←/→ボタン5をくり返し押して設定したい曜日を選び、決定ボタン6を押します。選んだ曜日の下が黒に変わります。もう一度押すと、選択が解除されます。複数の曜日を選ぶことができます。
設定が終わったら、←/→ボタン5をくり返し押して「ケッテイ」を選び、決定ボタン6を押します。

4 開始時刻と終了時刻を合わせる。

↑/↓ボタン5をくり返し押して、「時」を合わせ、決定ボタン6を押します。「分」および終了時刻も同様に設定します。

5 音源を選ぶ。

CD/MD/テープ/“ウォークマン”

↑/↓ボタン5をくり返し押して音源を選び、決定ボタン6を押します。

ラジオ

↑/↓ボタン5をくり返し押して「チューナー」を選び、決定ボタン6を押します。
↑/↓ボタン5をくり返し押して「FM」または「AM」を選び、決定ボタン6を押します。
↑/↓ボタン5をくり返し押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号または「マニュアル」を選び、決定ボタン6を押します。
「マニュアル」を選んだ場合は、↑/↓ボタン5をくり返し押して聞きたいラジオ局の周波数に合わせ、決定ボタン6を押します。

6 音量を調節する。

↑/↓ボタン5をくり返し押してタイマー開始時の音量を設定し、決定ボタン6を押します。タイマーの設定確認が表示されます。

7 電源を切る。

タイマー開始時刻の約15秒前に、電源が入ります。開始時刻に電源が入っていると、タイマーは働きません。

ちょっと一言

CDやMD、“ウォークマン”の好きな曲だけ再生したいときは、手順1でプログラムします(23ページ)。

録音タイマーを使う

指定した曜日、時刻にラジオからMDやテープ、“ウォークマン”に録音することができます。タイマーは3件まで設定できます。操作の前に時計を合わせてください(15ページ)。

1 「ラジオ局を登録する」(19ページ)の手順にしたがって、ラジオ局を登録する。

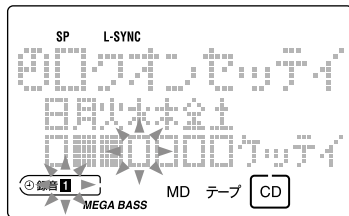
2 タイマーの種類を選ぶ。

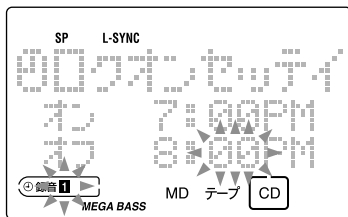
再生／録音タイマーボタン[19]をくり返し押して「◷ロクオン[1]」から「◷ロクオン[3]」までのいずれかを選び、決定ボタン[6]を押します。

3 録音回数を選ぶ。

↑/↓ボタン[5]をくり返し押して、「イッカイ？」または「マイシュウ？」を選び、決定ボタン[6]を押します。

4 設定したい曜日を選ぶ。

手順2で「イッカイ？」を選んだときは、↑/↓ボタン[5]をくり返し押して「月」を合わせ、決定ボタン[6]を押します。「日」も同様に設定します。
手順2で「マイシュウ？」を選んだときは、←/→ボタン[5]をくり返し押して設定したい曜日を選び、決定ボタン[6]を押します。選んだ曜日の下が黒に変わります。もう一度押すと、選択が解除されます。複数の曜日を選ぶことができます。
設定が終わったら、←/→ボタン[5]をくり返し押して「ケッテイ」を選び、決定ボタン[6]を押します。

5 開始時刻と終了時刻を合わせる。

↑/↓ボタン[5]をくり返し押して「時」を合わせ、決定ボタン[6]を押します。「分」および終了時刻も同様に設定します。

6 ラジオ局を選ぶ。

↑/↓ボタン[5]をくり返し押して「FM」または「AM」を選び、決定ボタン[6]を押します。
↑/↓ボタン[5]をくり返し押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号または「マニュアル」を選び、決定ボタン[6]を押します。
「マニュアル」を選んだ場合は、↑/↓ボタン[5]をくり返し押して聞きたいラジオ局の周波数に合わせ、決定ボタン[6]を押します。

7 録音先を選ぶ。

MDへ

↑/↓ボタン[5]をくり返し押して「MDへロクオン」を選び、決定ボタン[6]を押します。
↑/↓ボタン[5]をくり返し押して録音モード(46ページ)を選び、決定ボタン[6]を押します。
タイマーの設定確認が表示されます。

テープへ

↑/↓ボタン[5]をくり返し押して「テープへロクオン」を選び、決定ボタン[6]を押します。
タイマーの設定確認が表示されます。

“ウォークマン”へ

↑/↓ボタン[5]をくり返し押して「ウォークマンへロクオン」を選び、決定ボタン[6]を押します。
タイマーの設定確認が表示されます。

次のページにつづく

8 MDまたはテープを入れるか、“ウォークマン”を本機につなぐ。

MDに新しいグループを作って録音する場合は、MDボタン3を押して音源をMDに切り換え、MDグループボタン25を押して「グループ」を点灯させせます。
既存のグループの中に録音する場合は、+/–ボタン5をくりかえし押して、録音先のグループを選びます。

テープに録音する場合は、録音したい面を上にして入れます。

9 電源を切る。

タイマー開始時刻の約40秒前に、電源が入ります。開始時刻に電源が入っていると、タイマーは働きません。

1つ前の項目に戻るには

戻るボタン7を押します。

再生タイマーの設定を確認／解除／変更するには

1 再生／録音タイマーボタン19をくり返し押して「サイセイ」を選び、決定ボタン6を押す。

2 ↑/↓ボタン5をくり返し押して「オン」、「オフ」または「ヘンコウ」を選び、決定ボタン6を押す。
「ヘンコウ」を選んだときは、タイマーを設定し直してください。

録音タイマーの設定を確認／解除／変更するには

1 再生／録音タイマーボタン19をくり返し押して、確認または解除したい録音タイマー設定を選び、決定ボタン6を押す。

2 ↑/↓ボタン5をくり返し押して「カクニン」、「サクジョ」または「ヘンコウ」を選び、決定ボタン6を押す。
「ヘンコウ」を選んだときは、タイマーを設定し直してください。

ご注意

- 再生タイマーや録音タイマーが働いているときにスリープタイマーを使うと、スリープタイマーが優先されます。
- 再生タイマーと録音タイマーの設定時間が重なっている場合は、録音タイマーが優先されます。
- 複数の録音タイマーが重なっている場合は、録音番号(ロクオン1 ～ 3)の小さい設定が優先されます。
- 録音中、ボリュームは最小になります。
- MDに録音するときに、録音しているラジオ局に局名がある場合は、ラジオ局名が記録されます。
- 録音タイマーを使ってMDや“ウォークマン”に録音するときは、ワンタッチ録音ボタンを押しても曲番をつけることができません。
- “ウォークマン”に録音するときに、複数の録音タイマーを連続する時間で設定している場合、後ろの録音タイマーの開始時刻の1分前に本機が準備に入るため、前の録音タイマーの最後の１分間は録音されません。
例）ロクオン1：7:00AM開始～ 8:00AM終了、ロクオン2：8:00AM開始～ 9:00AM終了と設定した場合、ロクオン2は7:59AMに本機が準備に入るため、ロクオン1の7:59AMから8:00AMまでは何も録音されません。

使用上のご注意

再生できるディスク

- 音楽用CD
- CD-R/CD-RW（音楽データ）
- MD

再生できないディスク

- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- 中古ディスクやレンタルディスクで、セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの接着剤がはみ出したり、はがしたあとのあるディスク
- 市販されているシールやリングなどのアクセサリーを取りつけたディスク
- 8cmディスクを標準ディスクに変換するアダプターを使用したディスク
- セッションクローズ処理をしていないCD-RおよびCD-RWディスク
- 状態の悪いレコーダーやディスクで録音したCD-RおよびCD-RWディスク

設置時のご注意

- 温度上昇を防ぐために、密閉した場所に置かず、風通しの良い所で使ってください。
- スピーカーの近くに磁気を発生するもの（健康器具、玩具など）を置くと、相互作用でテレビ画面に色むらが起こりやすくなります。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本体およびスピーカーなどを置くときは、変色、染みなどが残ることがあります。
- 部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります（結露）。正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあるので、本機を使わないときは、ディスクを取り出してください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

使用時の放熱について

- 使用中、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側板、底板、通風孔はかなり熱くなります。このようなときは、火傷などのけがの原因になるため、キャビネットなどに触れないでください。
  また、動作中の温度上昇を避けるために空冷ファンを搭載している機器では、大きな音を出したときなどにファンが回転します。機器の温度が上昇して故障の原因になるため、ファンの通風孔付近を塞がないでください。
- 電源を切っているにもかかわらず、本機の天板が温かくなることがありますが故障ではありません。電源コードがコンセントに差し込まれている限り、電源を切っているときでも本機の一部には電流が流れていて、リモコンでの操作の待ち受けや、タイマー動作などのために使われています。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型ではありません。そのため、本機のスピーカーをテレビのそばで使うと、テレビ画面に色むらが起こります。テレビから離してお使いください。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15 ～ 30分後に再びスイッチを入れてください。それでも色むらが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離してください。

テレビのノイズについて

本機はデジタル機器です。そのため本機をテレビのそばで使うと、画面にノイズが入ることがあります。テレビから離してお使いください。

お手入れのしかた

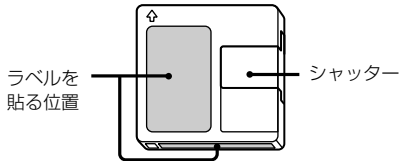
キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので、使わないでください。

CDの取り扱いかた

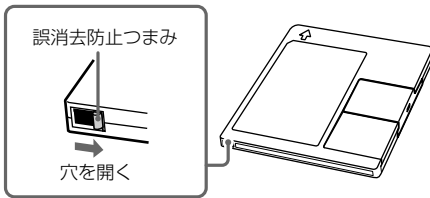
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いた後、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高音になるところには置かないでください。

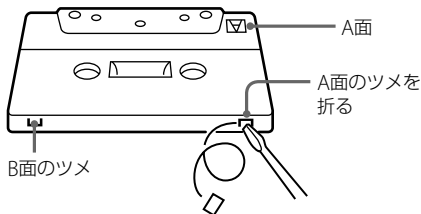
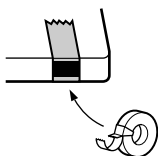
次のページにつづく

MDの取り扱いかた

- シャッターを無理に開けようとすると、壊れます。シャッターが開いてしまった場合は、内部のディスクに直接触れずに、すぐに閉めてください。
- ディスクに付属のラベルはシャッターの周りなど所定の位置以外に貼らないでください。必ずラベル用のくぼみに貼ってください。くぼみの形はディスクによって異なります。

- 定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高音になるところには置かないでください。

MDの録音内容を消したくないときは

誤消去防止つまみをずらして穴を開きます。再び録音するときは、つまみを元の位置に戻します。

テープの録音内容を消したくないときは

消したくない面の誤消去防止ツメを折ります。

ツメを折っても、折ったツメの部分だけ穴をふさげば再び録音できます。

長時間テープの使用は避けてください

90分を超える長時間テープは、テープ自体が薄く伸びやすい性質になっています。そのため機械に巻き込まれ、本機の故障の原因となる場合があるため、使わないでください。

テープヘッドのお手入れ

ヘッドはおよそ10時間使うごとに別売りのクリーニングカセット（乾式）C-1KDを使ってクリーニングしてください。汚れがひどくなると、音が悪い、音が小さい、音がとぎれる、前の音が消えないで残る、録音ができない、などの症状が出ます。
また、特に大切な録音をする前や古いテープを使用した後には、かならずクリーニングしてください。詳しくはクリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。

MDのシステム上の制約

MDではいくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒*以下の部分は無視するため、短い曲を何曲消しても、録音できる残り時間が増えないことがあります。

* SPステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は約24秒、LP4ステレオ録音時は約48秒）

ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間と一致しない

通常、録音は約2秒**を最小単位としてディスクに記録されます。2秒**に満たない場合でも、実際には2秒**分のスペースを使うため、実際に録音できる時間は少なくなります。また、MDに傷があるとその部分を自動的に削除するため、その分の時間が減ります。

**SPステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は約4秒、LP4ステレオ録音時は約8秒）

編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると音が途切れる

再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生します。このため、短い曲がディスクの上に分散していると探すのに時間がかかり、音が途切れることがあります。

余分な曲が作られる

CDの曲間が長い場合、余分な曲が作られることがあります。

録音したトラック数が異なる

CDに短い曲が含まれている場合、録音しても曲番が付かず、CDとMDで曲数が異なることがあります。

デジタル録音の制約（シリアルコピーマネージメントシステム）について

デジタルオーディオでは、音声信号をデジタルでやりとりします。CD、MD、DAT（デジタルオーディオテープ）、衛星デジタル音楽放送などがこれに当たり、これらは音楽を手軽に劣化の少ない状態でコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制（シリアルコピーマネージメントシステム）が必要となり、本機はこのシステムに準拠しています。

原則1：デジタル録音したものから、さらに他のデジタル録音機器（MDやDATデッキなど）へのデジタル録音はできません。
原則2：アナログ録音したものは、他のデジタル録音機器へ1度だけデジタル録音できます。

機器のアナログ入出力端子同士を接続してアナログ録音するときは、上記の原則にあたりません。
著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

長時間録音（MDLP録音）について

MDLP録音した曲は、MDLP対応機器でのみ再生できます。LP4ステレオ録音は、特殊な圧縮方式によって長時間録音を実現しています。音質を重視するときは、SPステレオ録音またはLP2ステレオ録音をおすすめします。1枚のMDに各録音モードを混在させて録音することもできます。
録音モードを「MONO」にしても、スピーカーからは音源のままの音声（ステレオ信号録音時はステレオ音声）が聞こえます。
LP2/LP4ステレオ録音した曲は、MDLPに対応していない機器で再生や編集をしようとすると、「LP:」と表示され、再生や編集をすることはできません。

ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）について

CDを高速でMDにシンクロ録音すると、録音を始めた時点から74分間は、同一の曲を高速録音できません。ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）では、CDの曲ごとに固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code） をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。
すでに高速でシンクロ録音された曲を再び高速でシンクロ録音した場合、自動的に通常速度のシンクロ録音に切り換わり、録音を継続します。

故障かな？と思ったら

本機を使用中にトラブルが発生した場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてください。自己診断表示機能（58ページ）やメッセージ一覧（59ページ）も合わせてご覧ください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
本書の手順の中にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

手順2　「システムステレオ カスタマーサポート」のホームページで調べる

http://www.sony.jp/support/systemstereo/index.htmlで調べる。
最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

手順3　それでもトラブルが解決しないときは

ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：CMT-M35WM
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 自己診断機能の状況：
- 故障したときに再生していたディスク：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

共通

症状	原因と対応のしかた
電源を切ったのに、表示窓にいろいろな表示が出る	→ デモ表示になっている。時計を合わせるとデモ表示が表示されなくなります（15ページ）。
左右の音のバランスが悪い、または逆転している	→ スピーカーコードを正しく接続してください（12ページ）。
雑音が多い	→ スピーカーコードを正しく接続してください（12ページ）。 → テレビやビデオなどと本機を離して設置してください。
リモコンで操作できない	→ リモコンと本体の間の障害物を取り除き、本体を蛍光灯から離して設置してください。 → リモコンを本体のリモコン受光部R16に向けてください。 → 本体にリモコンを近づけて操作してください。 → 乾電池が消耗している。新しい電池に交換してください。
本体の電源ランプ2が点滅している	→ 電源プラグをコンセントから抜いて以下のことを確認してください。 • スピーカーコードがショートしていないか（12ページ） • 付属以外のスピーカーを接続していないか • 風通しの悪い所に置いたり通風口をふさいだりしていないか（5ページ） • 交流100V以外のコンセントに接続していないか（4ページ）

CD

症状	原因と対応のしかた
音飛びがする	→ CDが汚れている。CDの汚れを拭き取ってください（51ページ）。 → 振動のない場所（安定した台の上など）に本機を設置してください。
再生が始まらない	→ CDが汚れている。CDの汚れを拭き取ってください（51ページ）。 → CDに傷がある。 → 本機内部のレンズ、または入れたCDが結露している。CDを取り出して電源を切った状態で約30分間放置し、再びCDを入れてください。
再生が1曲目から始まらない	→ シャッフル再生、またはプログラム再生になっている。停止中に再生モードボタン24をくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻してください。

MD

症状	原因と対応のしかた
再生が始まらない	→ MDが汚れている。MDの汚れを拭き取ってください（52ページ）。 → MDに傷がある。 → 本機内部のレンズ、または入れたMDが結露している。MDを取り出して電源を切った状態で約30分間放置し、再びMDを入れてください。 → グループ登録された曲がないときに、グループ機能を働かせている。MDグループボタン25を押して、表示窓の「グループ」を消し、グループ機能を解除してください。
音飛びがする	→ MDが汚れている。MDの汚れを拭き取ってください（52ページ）。 → MDに傷がある。 → 振動のない場所（安定した台の上など）に本機を設置してください。

次のページにつづく

症状	原因と対応のしかた
再生が1曲目から始まらない、または編集ができない	→ シャッフル再生、またはプログラム再生になっている。停止中に再生モードボタン㉔をくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻してください。
録音できない	→ 市販の再生専用のMDが入っている。録音用MDと交換してください。 → MDの残り時間が足りない。MD編集機能を使って不要な曲を消すか、別のMDと交換してください。
CDからMDに高速でシンクロ録音できず通常速度の録音に切り換わってしまう	→ CDに汚れや傷がある。 → 本機を不安定な場所で使っている。安定した場所に本機を設置してください。 → ハイスピードコピーマネージメントシステムによる制約で高速録音できない。高速録音する場合は、75分経過後に録音し直してください(53ページ)。
瞬間的な雑音が聞こえる	→ LP4録音した曲では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によっては、ごくまれに瞬間的な雑音が発生します。
本機で録音したMDを他の機器で再生できない	→ MDLPに対応していないMDプレーヤーで再生している。 録音モードをSPステレオ録音またはモノラル録音にして、録音し直してください。

ラジオ

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る(「ステレオ」が点滅する)	→ アンテナを正しく接続し直してください(13ページ)。 → 受信状態のよい場所(窓際や屋外など)や方向を探し、アンテナを設置し直してください。 → 市販の外部アンテナをつないでください(14ページ)。 → 近くの電気器具の電源を切ってください。

テープ

症状	原因と対応のしかた
雑音が多い、または音がとぎれる	→ 本体内部のピンチローラーの汚れを取ってください。 → テープヘッドの汚れを取ってください(52ページ)。

“ウォークマン”

症状	原因と対応のしかた
再生が始まらない	→ 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。対応機種を確認してください(68ページ)。
録音できない	→ “ウォークマン”に空き容量がない。不要な曲を削除してください(31ページ)。 → “ウォークマン”の曲やアルバムの数が上限に達した。不要な曲を削除してください(31ページ)。 → 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。対応機種を確認してください(68ページ)。

症状	原因と対応のしかた
編集（曲に名前を付ける、曲を削除する）ができない	→ シャッフル再生、またはプログラム再生になっている。停止中に再生モードボタン㉔をくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻してください。

外部機器

症状	原因と対応のしかた
音が歪む	→ 外部入力端子⑩につないだ機器からのアナログ録音中に、規定以上の大きな信号が入った。本機へ入力される音を小さくしてください。

上記を確認しても正常に動作しないときは（リセット）

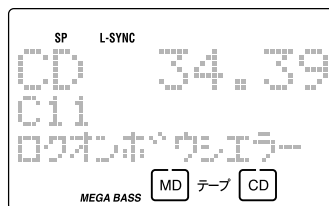
上記のチェック項目を確認しても正常に動作しない場合は、下記の手順で本機をリセットしてください。

本体の■ 停止ボタン⑧、ウォークマンへワンタッチ録音ボタン⑰、I/⏻ 電源ボタン①を3つ同時に押す。

「COLD RESET」と表示され、ラジオ局のプリセット設定や時計、タイマーなどの設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。

それでもまだ正常に動作しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

自己診断表示機能

本機には自己診断表示機能がついています。
これは、本機が正しく動作していないとき、画面に表示番号とメッセージを表示してお知らせする機能です。
以下の表をご覧になり、表示に合った対応をしてください。2、3度くり返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

表示番号/メッセージ	原因と対応のしかた
C11 ロクオンボウシエラー （録音防止エラー）	➔ MDが誤消去防止状態になっている（52ページ）。MDを取り出し、録音可能状態にしてください。
C13 ロクオンエラー （録音エラー）*	➔ 正しく録音できなかった。振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直してください。 ➔ MDにひどい汚れや傷がある、またはMDが規格外である。MDを交換して、録音をやり直してください。
C13 ヨミトリエラー （読取りエラー）	➔ MDの情報を正しく読み取れなかった。MDを交換してください。
C14 TOCエラー	➔ MDの情報を正しく読み取れなかった。MDを交換してください。 ➔ MDの全内容を削除してもよい場合は、MD編集機能を使って全内容を削除してください。
C41 SCMSエラー	➔ 録音しようとした音源が市販の音楽ソフトのコピーになっている。シリアルコピーマネージメントシステムの制約により、録音できません（53ページ）。
E0001 システムエラー	➔ 本機を動作させるために必要な内部情報に問題が生じた。ソニーの相談窓口にご相談ください。
E0101 ピックアップエラー	➔ 光ピックアップに問題が生じた。ソニーの相談窓口にご相談ください。
E0201 ローディングエラー	➔ ローディングに問題が生じた。ソニーの相談窓口にご相談ください。

* 操作できなくなった場合は、電源を切って1分程してから再度電源を入れてディスクを取り出してください。

メッセージ一覧

CD

メッセージ	原因と対応のしかた
コレイジョウ トウロクデキマセン （これ以上登録できません）	→ 26曲以上はプログラムできません。
サイセイチュウハ ヘンコウデキマセン （再生中は変更できません）	→ 再生中に再生モードを変えようとした。再生を停止させてから、操作してください。
ソウサデキマセン （操作できません）	→ 使用できないボタンを押した。
ディスクガアリマセン （ディスクがありません）	→ CDが入っていない、または本機で認識できないCDが入っている。
ヨミコミチュウ （読み込み中）	→ CDの情報を読み取っているため、表示が消えるまで本機に振動を与えないでください。
LOCKED	→ ディスクトレイが固定されているため、開かない。お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

MD

メッセージ	原因と対応のしかた
カクニン （確認）	→ 編集操作で、曲の一部を消したり、曲を分ける部分の指定終了後、確認のために再生している。再生される内容を聞きながら、消す部分や分ける部分を確認してください。
カンリョウシマシタ （完了しました）	→ MD編集作業が正常に終了した。
コウソクロクオンハ デキマセン （高速録音はできません）	→ ハイスピードコピーマネージメントシステムによる制約です。75分経過後に高速でシンクロ録音し直してください（53ページ）。 → 通常速度でシンクロ録音し直してください。
コレイジョウ トウロクデキマセン （これ以上登録できません）	→ 26曲以上はプログラムできません。
コレイジョウ ニュウリョクデキマセン （これ以上入力できません）	→ 入力可能な文字数（約1,700文字、カナ文字のみで800字）がすでに記録されている。不要な曲名などを削除してから、入力し直してください。
コレイジョウ ロクオンデキマセン （これ以上録音できません）	→ 録音可能時間が残り少ないため、録音できない。新しいMDと交換してください。 → 255曲以上は録音できません。 → 録音や編集をくり返し行うと、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「コレイジョウロクオンデキマセン」が表示されます。MDのシステム上の制約で、故障ではありません。新しいMDと交換してください。

次のページにつづく

メッセージ	原因と対応のしかた
コレイジョウGpヲ サクセイデキマセン （これ以上グループを 作成できません）	→ グループ数の上限（99グループ）を越えて新たにグループを作成しようとした。または、グループ管理情報の更新に必要な文字数が不足している。不要な文字（ディスク名または曲名）を消してください。 → グループ機能が働いていないときでも、編集操作を行うと、グループ管理情報が更新されるため、「コレイジョウGpヲサクセイデキマセン」と表示されることがあります。
サイセイチュウハ ヘンコウデキマセン （再生中は変更できません）	→ 再生中に再生モードを変えようとした。再生を停止させてから、操作してください。
スマートスペース	→ 録音中、約3秒以上（30秒未満）無音状態が続いたため、無音部分が約3秒に短縮された。曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除してください（46ページ）。
ソウサデキマセン （操作できません）	→ S.F編集（録音後の音声レベルの変更、フェードイン・フェードアウト）の実行中は他の操作はできません。 → S.F編集（録音後の音声レベルの変更、フェードイン・フェードアウト）の実行中に電源を切ると、書き換えが正常に終了しません。書き換え終了後に電源を切ってください。
タダシクジッコウ デキマセンデシタ （正しく実行できませんでした）	→ 録音後の音声レベルの変更やフェードイン・フェードアウトの操作が正しく行われなかった。本機を振動のない場所に置き、傷や汚れのないMDを使用して、やり直してください。
ディスクガアリマセン （ディスクがありません）	→ MDが挿入されていない。
トラックノサイゴデス （トラックの最後です）	→ 曲を分ける編集操作中、曲を分ける位置の調節中に曲の最後まで達した。⏮ ボタン5または↑/↓/←/→ボタン5を押して、位置を変えてください。
ヘンコウアリマセン （変更ありません）	→ 録音後に音声レベルを変更するときに、音声レベルを変更しないで決定ボタン6を押したため、書き換えをせずに終了した。
ヘンシュウデキマセン （編集できません）	→ MDが誤消去防止状態になっている（52ページ）。MDを取り出し、録音可能状態にしてください。 → 市販の再生専用MDが入っている。再生専用MDは編集できません。 → シャッフル再生、またはプログラム再生になっている。停止中に再生モードボタン24をくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻してください。 → MDLP録音した曲の音声レベルは変更できません。 → MD編集操作で、不可能な編集内容が指定された。 → つなごうとした、または一部分を消そうとした曲が、MDのシステム上の制約で編集できなくなっている。 MDでは、ひとつの曲が連続して録音されず、ディスク上の空いている場所を探しながら効率よく録音されるため、手軽に録音、編集をくり返すことができますが、何度もくり返すとひとつの曲がディスクのあちこちに、少しづつ記録される状態になり、編集できなくなることがあります。 → 曲を分ける位置に曲の先頭または最後を指定した。↑/↓/←/→ボタン5をくり返し押して、位置を変更してください。 → Net MD対応機器でチェックアウト（転送）した曲などは、曲が保護されているため、一部のMD編集機能は使用できません。

メッセージ	原因と対応のしかた
ムオンブブンヲ タンシュクシマス （無音部分を短縮します）	➔ 録音中、無音状態が約30秒以上続いたため、無音部分を約3秒に短縮した後、録音一時停止状態になっている。録音を再開したいところで本体のMDへワンタッチ録音ボタン⑰を押してください。曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除して録音し直してください（46ページ）。
ヨミコミチュウ （読み込み中）	➔ MDの情報を読み取っているため、表示が消えるまで本機に振動を与えないでください。
ヨミコミチュウデス （読み込み中です）	➔ CDの読み取りエラーが起こり、CDのデータを再度読み取っている。読み取りに成功すると、高速でシンクロ録音を続けます。CDや本機の状態が悪いと「ヨミコミチュウデス」が点滅し、自動的に通常速度のシンクロ録音に切り換わります。なお、このとき、録音されている音は聞けません。
ロクオンサレテイマセン （録音されていません）	➔ 挿入されたMDには何も録音されていない、またはMD編集の削除機能で全録音内容が削除されている。
ロクオンデキマセン （録音できません）	➔ 市販の再生専用MDへは録音できません。
MDヲトリカエテクダサイ （MDを取り替えてください）	➔ MDに録音できる容量がない。新しいMDを入れてください。
TOCヲ カキコミチュウデス （TOCを書き込み中です）	➔ 録音、編集された情報をMDに書き込んでいるため、表示が消えるまで本機に振動を与えないでください。

テープ

メッセージ	原因と対応のしかた
テープガアリマセン （テープがありません）	➔ テープが入っていない。
ロクオンデキマセン （録音できません）	➔ 誤消去防止ツメが折れているため、録音できない。A、B両面のツメの部分だけ穴をふさいでください（52ページ）。

“ウォークマン”

メッセージ	原因と対応のしかた
アタラシイトラックヲ サクセイシマス （新しいトラックを作成します）	➔ 本体のウォークマンへワンタッチ録音ボタン⑰を押したため、新しい曲番が作成された。
ウォークマンガ セツゾクサレテイマセン （“ウォークマン”が 接続されていません）	➔ “ウォークマン”を本機に接続せずに、“ウォークマン”へ録音しようとした。 ➔ 本機が“ウォークマン”を読み込み中に、“ウォークマン”へ録音しようとした。
ウォークマンヲ セツゾクシテクダサイ （“ウォークマン”を 接続してください）	➔ “ウォークマン”が接続されていない。

次のページにつづく

メッセージ	原因と対応のしかた
ウォークマンヲ ヌカナイデクダサイ （“ウォークマン”を 抜かないでください）	→ 録音中は“ウォークマン”を抜かないでください。 → 曲を削除中は“ウォークマン”を抜かないでください。
カンリョウシマシタ （完了しました）	→ “ウォークマン”編集作業が正常に終了した。
コノトラックハ サイセイデキマセン （このトラックは再生できません）	→ 再生できない曲を再生しようとした。本機で再生できるデータ形式はMP3、WMA、AAC、ATRACです。
コレイジョウ トウロクデキマセン （これ以上登録できません）	→ 26曲以上はプログラムできません。
コレイジョウ ロクオンデキマセン （これ以上録音できません）	→ “ウォークマン”の空き容量がなくなった。 → 総曲数が、“ウォークマン”が認識できる上限に達した。 → 総アルバム数が、“ウォークマン”に記録できる上限に達した。
サイセイチュウハ ヘンコウデキマセン （再生中は変更できません）	→ 再生中に再生モードを変えようとした。再生を停止させてから、操作してください。
ショウキョ デキマセンデシタ （消去できませんでした）	→ 曲の削除に失敗した。
ソウサデキマセン （操作できません）	→ 使用できないボタンを押した。
トラックガアリマセン （トラックがありません）	→ 曲が入っていない。
ニンシキ デキマセンデシタ （認識できませんでした）	→ 対応機種以外の“ウォークマン”をつないだ。対応機種を確認してください（68ページ）。
ヨミコミチュウ （読み込み中）	→ “ウォークマン”の情報を読み取っているため、表示が消えるまで本機に振動を与えないでください。

タイマー

メッセージ	原因と対応のしかた
セッテイジカンニ アヤマリガアリマス （設定時間に誤りがあります）	→ 再生タイマーまたは録音タイマーの設定で、終了時刻と開始時刻を同じに設定した。終了時刻を設定し直してください。
タイマーヲオフニ シテクダサイ （タイマーをオフにしてください）	→ 再生タイマーまたは録音タイマーを起動中に、時計設定を行った。タイマーを解除してください（50ページ）。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口やお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではマイクロハイファイコンポーネントシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ラジオ局名一覧

本機には、国内の以下のラジオ局の名前があらかじめ登録されています。

ホッカイドウ（北海道）

FM		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
80.4	AIR-G’	900	HBCラジオ
76.4		1269	
78.5		1287	
86.4		1404	
89.4		1449	
88.8		801	
83.1		864	
82.5	FMノースウェーブ	1368	
79.8		639	STVラジオ
82.1		909	
80.7		1071	
79.4		1440	
		882	
		1062	
		1197	

トウホク（東北）

FM		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	FMイワテ	684	IBCイワテ
77.1	Date fm	918	YBCヤマガタ
80.0	FMアオモリ	936	ABSアキタ
80.4	Boy-FM	1458	ラジオフクシマ
81.8	フクシマFM	1233	RABアオモリ
82.8	FMアキタ	1260	TBCトウホク

カントウコウシンエツ（関東甲信越）

FM		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	Inter FM	765	YBSヤマナシ
76.5		954	TBSラジオ
76.4	RadioBerry	1098	SBCシンエツ
77.1	ホウソウダイガク	1116	BSNニイガタ
78.8			

FM		AM	
77.5	FMニイガタ	1134	ブンカホウソウ
86.5		1197	IBSイバラキ
78.0	bayfm	1242	ニッポンホウソウ
79.3		1422	ラジオニッポン
83.0	FM-FUJI	1530	CRTトチギ
78.6			
79.0	FM Port		
79.5	NACK5		
79.7	FMナガノ		
80.0	TOKYO FM		
81.3	J-WAVE		
84.7	FMヨコハマ		
86.3	FMグンマ		

チュウブ（中部）

FM		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	FMフクイ	738	KNBキタニホン
77.8	ZIP-FM	864	FBCフクイ
78.9	FMミエ	1053	チュウブニッポン
79.2	K-MIX	1107	MROホクリク
79.5	RADIOi	1332	トウカイラジオ
80.5	FMイシカワ	1404	SBSシズオカ
80.7	FM AICHI	1431	GBSギフ
82.7	FMトヤマ		
80.0	Radio80		

キンキ（近畿）

FM		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.5	FM COCOLO	558	ラジオカンサイ
77.0	e-radio	1008	ABCアサヒ
77.6	Kiss-FM	1143	KBSキョウト
89.9		1179	マイニチホウソウ
80.2	FM802	1314	ラジオオオサカ
85.1	fm osaka	1431	WBSワカヤマ
89.4	α-STATION*		

次のページにつづく

チュウゴク（中国）

FM		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.8	FMオカヤマ	765	KRYヤマグチ
77.4	V-air	900	BSSサンイン
78.8		1350	RCCチュウゴク
86.6		1494	RSKサンヨウ
78.2	HFM		
79.2	FMY		

シコク（四国）

FM		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
78.6	FMカガワ	900	RKCコウチ
79.7	FMエヒメ	1116	RNBナンカイ
80.7	FMトクシマ	1269	JRTシコク
81.6	Hi-Six	1449	RNCニシニッポン

キュウシュウ（九州）

FM		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	LOVE FM761	738	RBCリュウキュウ
82.7		864	ラジオオキナワ
77.0	CROSS FM	936	MRTミヤザキ
78.7		1098	OBSオオイタ
86.5		1107	MBCミナミニホン
77.4	FMK	1197	RKKクマモト
77.9	FMサガ	1233	NBCナガサキ
79.5	FMナガサキ	1278	RKBマイニチ
80.3		1413	キュウシュウアサヒ
79.8	μFM*	1458	ラジオサガ
80.0	FMフクオカ		
80.7			
82.1			
83.2	JOY FM		
87.3	FMオキナワ		
88.0	FMオオイタ		

* MDに録音した場合、「α」や「μ」はMD規格外の文字のため空白表示されます。

主な仕様

本体（HCD-M35WM）

アンプ部

実用最大出力　20W＋20W（JEITA* 8Ω 負荷）
入・出力端子　外部入力端子：
ステレオミニジャック0.7V（47kΩ）標準
Ω（ヘッドホン）端子：
ステレオミニジャック 16Ω 以上
ウォークマン接続端子：
USBタイプA　Full-speed USB
"ウォークマン"（ATRAC-AD）接続用

CDプレーヤー部

形式　コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
周波数特性　5Hz～20kHz

MDデッキ部

サンプリング周波数　44.1kHz
周波数特性　5Hz～20kHz

カセットデッキ部

トラック方式　4トラック2チャンネルステレオ
周波数特性　ソニーTYPE Iカセット
60～8,000Hz

チューナー部

受信周波数　FM：76～90MHz（100kHzステップ）
AM：531～1,629kHz（9kHzステップ）
アンテナ端子　FM：75Ω 不平衡型
AM：外部アンテナ端子

スピーカーシステム（SS-CM35）

型式　2ウェイバスレフ型
使用スピーカー　ウーファー（低音用）10cmコーン型
トゥイーター（高音用）4cmコーン型
インピーダンス：8Ω
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）
約140×232×233mm
質量　約2.2kg（1台）

その他

電源　AC100V、50/60Hz
消費電力　45W：通常動作時（JEITA*）
0.5W以下：スタンバイ（節電モード）時
最大外形寸法
（幅×高さ×奥行き、最大突起部含む）
約160×232×303mm
質量　約4.9kg
付属品　リモートコマンダー（RM-SM35）（1）
単3形乾電池（2）
FM用簡易アンテナ（1）
AMループアンテナ（1）
取扱説明書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

- 待機時消費電力0.5W以下
- プリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません

使用上のご注意・主な仕様

商標について

- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

本機と接続できる“ウォークマン”

動作確認済み機種（2008年10月現在）

シリーズ	機種名
Aシリーズ	NW-A605/A607/A608 NW-A805/A806/A808 NW-A828/A829 NW-A916/A918/A919
Sシリーズ	NW-S203F/S205F NW-S603/S605 NW-S615F/S616F NW-S636F/S638F/S639F NW-S636FK/S638FK NW-S703F/S705F/S706F NW-S715F/S716F/S718F NW-S736F/S738F/S739F
Eシリーズ	NW-E002/E003/E005 NW-E013/E015/E016 NW-E023F/E025F/E026F NW-E305/E307

最新の対応機種は、「システムステレオ カスタマーサポート」のホームページ（http://www.sony.jp/support/systemstereo/index.html）をご覧ください。

ご注意

- 上記の機種をお使いの場合でも、常に動作が保証されているわけではありません。
- 本機では、データ形式がリニアPCM、ATRAC Advanced Losslessの曲は再生できません。
- パソコンを使わずにダイレクトエンコーディング機能で“ウォークマン”に録音した曲は、本機で再生できません。

“ウォークマン”に録音するときの空き容量の目安

録音時間	必要な容量
5分	約5MB
15分	約14MB
30分	約28MB

“ウォークマン”の空き容量を確認するには、“ウォークマン”が停止中に表示切換ボタン22を押してください（22ページ）。

ご注意

録音に必要な容量は、“ウォークマン”の機種によって多少異なります。

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

次のページにつづく

アルファベット

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「306」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China